

# 徳山高専だより

National Institute of Technology , Tokuyama College

2024年度  
徳山工業高等専門学校 No.78



特集

## 徳山高専 創立50周年

徳山工業高等専門学校創立50周年記念式典





01	巻頭言
02	徳山高専創立50周年
06	課題発見・解決プロジェクト
07	Look Back 2024
15	徳山高専生の挑戦！継続は力なり
22	令和6年度就職・進学先一覧
23	今年の就職・進学状況
25	わたしの就職進学STORY
29	キャリア教育・学習支援室より
30	留学生日より
31	国際交流活動報告
33	高城寮より
35	学生会活動
37	退職教職員から
38	高城会より／編集後記

## 巻頭言

# 創立50周年を迎えて

徳山工業高等専門学校

校長 野口 健



本校は、昭和49年6月7日に開校し、昨年、創立50周年を迎えました。工業開発が急速に進展した周南地区での有能な技術者育成に向けた地域の大きな期待を受けての開校でした。

本校は、これまで例を見ない複合学科による教育を取り入れました。開校当初は手探りで一から作り上げていく状況で先人達の苦労は大変なものであったと思われれます。先人の努力の甲斐もあり、複合学科による教育は定着し、今では、他の高専でも複合教育がさかんに行われるようになりました。

本校は、これまで、本科卒業生、専攻科修了生、合わせて延べ6,022名を輩出してきました。これら卒業生・修了生は優れた技術者や研究者、経営者として様々な分野で活躍しています。昨年実施した創立50周年記念式典の講演会では、世界的に活躍する2名の卒業生から講演を

いただきました。これまでの周年記念式典では外部から講師を招いて講演をいただいておりますが、今回初めて卒業生から講演をいただくことができました。それだけ卒業生の層が厚くなってきたということです。次の周年記念式典でも各界で活躍する卒業生から講演をいただけることでしょう。

高専制度ができてから60年が経ちますが、高専に対する社会の期待は、近年、特に高まっています。昨年度、徳島県に新しい高専ができましたし、まだ高専の無い県で新しい高専を作ろうとする動きも出てきています。

昨年度、6年ぶりに本校卒業生と企業等を対象に本校の教育活動に関するアンケートを行いました。卒業生の9割を超える方から、今の生活に「満足」「まあ満足している」という回答をいただきました。また、本校卒業生を採用した企業等のうち

9割近い企業から、採用した本校卒業生に対して「非常に満足」「満足」という回答をいただきました。採用した本校卒業生に本校の学習・教育目標6項目に見合う実力がついてくるかの質問に対し、全ての項目について「非常に満足」「満足」と回答する割合が前回の調査から大きく増えています。加えて、本校卒業生が優れていると感じる資質・能力については、「情報収集・活用・発信力」や「課題発見力」、「チームワーク力」などが、前回の調査と比べて高くなっており、これまでの教育の成果が出ているものと思われれます。

この50年で産業構造や社会構造は大きく変化しました。そして、その変化の速度は、年々早くなってきています。次の50年間も社会で活躍できる人材を育成できる学校であり続けられるよう、教育・研究環境を整えていきたいと思います。



# 徳山高専は50周年を迎えました

9月20日 創立50周年記念式典を挙げる



校長式辞

## 創立50周年記念式典

1974年6月7日に開校した徳山高専は、2024年6月に創立50周年を迎えました。日本で最初の複合学科制を取り入れて発足した徳山高専は、「技術を愛する人物、人々から信頼される人物を育み、広く社会の安全と人々の幸福に寄与する」という建学の理念のもと、複合技術のノウハウを有した優秀な人材を育成してきました。創立

機械電気工学科  
副校長(総務担当)・教授

西村 太志

以来、約6000名以上の本科生・専攻科修了生を地域や国内外へ送り出し、産業や専門技術の発展に大きく貢献しています。



学生代表挨拶

9月20日に創立50周年記念式典・記念講演会を周南市文化会館で挙行了しました。記念式典では、50年の歴史を振り返るオープニングムービーや吹奏楽部による演奏が行われた後、野口健校長が式辞で、創立時からの人材育成について振り返り、これまで徳山高専の教育・研究にご協力いただいた地域産業への感謝とこれからの期待を述べました。続いて来賓の方々からの祝辞をいただき、学生会長の田川太一君による学生代表挨拶、高専機構の谷口功理事長による謝辞が述べられ、盛会裡のうちに記念式典が終了しました。



校歌斉唱



本校教職員



来賓



学生補助員の様子

## 学生補助員

情報電子工学科3年 行田 晴

50周年式典に参加し、多くの刺激を得ることができました。

私は学生会役員なので補助員として受付を行い、その際、岸信千世議員にお会いしました。指を骨折していただきましたが、その心配をしてくださいました。当時は17歳だったため、政治に興味はありませんでしたが、興味を持つきっかけとなりました。

徳山高専の卒業生のお二人の講演もとても有意義な時間となりました。自分の興味を持ったことを突き詰めていく姿に感動し、感銘を受けました。

土木建築工学科4年 中川 唯花

今回の50周年式典で、初めて学

生会のボランティアに参加しました。私は、受付にお越しいただいた来賓の方を案内する仕事をしました。最初の方は緊張したけど、徐々に慣れていってスムーズに案内できたと思います。記念すべき日に補助員として参加でき、いい経験になりました。

機械電気工学科4年 倉本 比呂

私は内向的な性格ですが、人と関わることや誰かと一緒に仕事をすることが好きで、この学生補助員の活動に参加しました。最初は、指定された場所まで間違いない案内できるか不安でしたが、一度に多くの来場者がいらした際にもスムーズに対応でき、自分の成長を感じることができました。

## 吹奏楽部

一般科目吹奏楽部顧問 山本 拓生

吹奏楽部では50周年記念式典においてオープニング、及び国歌の演奏を行いました。

オープニングの曲は内藤淳一氏作曲の式典のための行進曲「栄光をたたえて」を選曲し、夏休み前から部員一丸となって練習に励みました。コロナ禍の影響もあり現在の部員数は16名と少なく、高専入学後に楽器を始めた部員が半分程度という状況ですが、本番では練習の

成果を十分発揮してくれたと思います。またOB3名も休日練習から本番まで演奏と指導に関わってくれて大変心強かったです。



吹奏楽部演奏

「ロボット開発とモノづくりのこれから」

吉崎さんは日本を代表するロボット技術者の一人で、実物大ガンダムのディレクターとして知られています。幼少期からロボットアニメなどに興味を持ち、ロボットをソフトウェア(プログラム)で動かしたくて徳山高専の情報電子工学科に入学したそうです。徳山高専では、メカトロニクス部で高専ロボコンに参加するほか、技能五輪「電子機器組み立て」の全国大会出場なども含め、自由な雰囲気の中で先端設備を用いた複合教育により技術や感性を磨かれました。卒業後、千葉大学や奈良先端科学技術大学院大学を経て、現在アストラテック株式会社の取締役として活躍されています。日本発のロボット制御システム



吉崎 航さん  
平成17年度 情報電子工学科卒

V・Sidoを用いたロボット開発を通じて他の徳山高専卒業生との協働の機会もあるそうです。吉崎さんは「高専生活でロボット作りに没頭できたことが今につながっているので、徳山高専での学びを吸収して将来のモノづくりに活かして欲しい」とことを後輩たちに伝えて講演を締めくくられました。

「土木工学を勉強していた平凡な高専生が  
ちよっとイケてる微生物学者に進化した話」

井町さんは本校の土木建築工学科卒業生で長岡技術科学大学に進学されて博士号取得、現在は国立研究開発法人海洋研究開発機構で上席研究員をされています。水質環境に関する分野から微生物に関する研究をされており、細胞分裂の過程や新種の微生物発見まで、多岐に渡る最先端の研究の様子やおもしろさを本当にわかりやすくお話ししてくださいました。その中では、土木建築や工学の分野を超えて、水が生命にとって不可欠であることや微生物に着目するきっかけなどもあり、思わぬところから仕事につながるエピソードも伺いました。さらに印象的だったのは、学生時代にかけられた一言の想い出、



井町 寛之さん  
平成7年度 土木建築工学科卒

自分を助けてくれた友人への感謝の言葉でした。現在もワクワクしながら研究を続けられ、微生物ハンターとして活躍されている中でも高専時代のことを大切にされていることが伝わってきました。私たちが50周年の「今」の高専を卒業した何十年後にも、誇り、想い出があふれ出てくるように全力で生きることが大切だと教えて頂いた気がします。

情報電子工学科5年 田中 玲奈

私が印象に残っていることが、吉崎さんは『アミューズメント向けだが、社会実装に向けたロボット』を作られていることである。皆が夢に見るようなロボット開発に取り組まれている吉崎さんを、私は深く尊敬した。私も将来は、周りから信頼され、社会に貢献できるエンジニアになりたいと心から思った。そのためにも、徳山高専で情報と電子をとくに学んできたように、社会に出てからも新たな知識を学ぶ姿勢を忘れずにいたい。

土木建築工学科2年 茅原 琴海

吉崎さんはV・SidoというAIの知能とモーターの出力の間を仲介する役割があるソフトウェアを開発されていて凄いなと思いました。ロボットの作成ではただ作るだけではなく社

会実装するロボットを作るとおっしゃっている色々なところから考えているんだなと思いました。

また、様々な分野と繋がっているところが高専の3学科あるところと似ているとおっしゃっていて、自分も3学科の繋がりを大切にしたいなと思いました。

機械電気工学科2年 作花 悠成

お話を聞いて、改めてアイデア出しとはものづくりの原点にして頂点だと思いました。吉崎さんのアイデアはどれもすごいものばかりで、世界が変わってしまうのではないかと思うものばかりでした。そして「ハードウェアが分からずソフトウェアは作れない」という言葉が私の心に残りました。ハードウェアの知識があることで、ソフトウェアでロボットのパフォーマンスを最大限に引き出すことができると思いました。

情報電子工学科4年 村野 悠之介

最初に微生物と聞いたときは土木建築工学科のイメージとは少し違うなと感じたが、微生物の培養では高専で学んだ排水処理技術の知識が役立つたそう。アーキアの培養に12年もの年月をかけて成功したと聞いて、一つのことをこれほど長く熱中されたことに驚いた。また、興味があることを突き詰める中で、それが他の分野にも繋がりが、今まで学んできたことが活きると分かった。自分も、今目の前にある課題に真摯に取り組んでいきたい。

土木建築工学科4年 芝 ひなた

土木建築工学科を卒業して、微生物研究者になられたということに驚いたとともに、今勉強しているものは、これからの人生の選択

機械電気工学科2年 三奈木 真皓

同調圧力に流されずに、当たり前を疑い、自分を開放的にしてみるといいという話が印象に残りました。そのためには、まずやってみようという姿勢が大事だと伺いました。そのため今は、授業で作った槍投げロボットを改良し、槍を連射する銃を作って、高専祭で的当てゲームを出そうとしています。



# 創立50周年 記念祝賀会



鏡開き



三作神楽

令和6年9月20日（金）に開催された徳山工業高等専門学校創立50周年記念式典、講演に引き続き、祝賀会が遠石会館の「連理の間」において17時過ぎより行われました。司会をKRY山口放送アナウンサーの田中泰平さんが務め、歴代教職員、同窓生、地元企業からの来賓を中心におよそ130名の出席者を迎えました。

野口健校長の挨拶をはじめに、来賓の参議院議員の江島潔先生、周南公立大学理事長の高田隆先生、徳山高専名誉教授の森野数博先生から祝辞を頂きました。野口校長、後援会会長の中谷浩正様、同窓会会長の川村宗弘様が会場の掛け声に合わせて鏡開きを行い、第5代校長の天野徹先生が乾杯の首頭を取りました。

しばしの歓談ののち、三作神楽が披露されました。この神楽



祝賀会の様子

は周南市の伝統芸能であり、山口県の無形民俗文化財にも指定されています。会場全体を柴鬼神と恵比寿様が舞い踊り、祝賀会に華を添えて下さいました。

張間貴史副校長の掛け声で万歳三唱が行われ、閉会となりました。懐かしい方々と50年の歩みを振り返り、地域の皆様と次の50年に向けたつながりを再確認できる祝賀会となりました。

## アマチュア無線記念局

機械電気工学科5年 原谷龍之介

徳山高専創立50周年記念局の原谷です。式典においては、アマチュア無線による特別な記念局を運用しました。創立50周年にあたりアマチュア無線部のメンバーを中心として特別な呼出符

号「8J4NITTC」をもつアマチュア無線記念局を設立し全国、全世界へ発信を通じ創立50周年をPRしてきました。

式典では、会場にアマチュア無線機材を持ち込み無線局を運用する「移動運用」を行い、東は東京から西は熊本まで全国のアマチュア無線局と交信し、式典、創立50周年のPRを実施しました。また同時に、式典を盛り上げるべく、来場者を対象としたアマチュア無線の体験及び



号「8J4NITTC」をもつアマチュア無線記念局を設立し全国、全世界へ発信を通じ創立50周年をPRしてきました。

式典では、会場にアマチュア無線機材を持ち込み無線局を運用する「移動運用」を行い、東は東京から西は熊本まで全国のアマチュア無線局と交信し、式典、創立50周年のPRを実施しました。また同時に、式典を盛り上げるべく、来場者を対象としたアマチュア無線の体験及び

運用風景の公開を行いました。記念局は9月1日から10月31日まで運用し、最終的に日本国内外の1000局以上と交信することができ本校創立50周年を盛り上げることに少しでも助力できたかなと思っております。

## 周南ロボコン

全体記念写真



高専祭期間中の10月26日に、本校の第2体育館において周南ロボコンが開催されました。今年には創立50周年に合わせて「創立50周年記念杯周南ロボコン2024」という形で開催されました。今年の競技は、ブロックを移動するフィールドとピンポン玉を回収してカゴに入れる2つのフィールド上で2台のロボットが協調して得点を競うというものです。出場チームは合計9チームであり、最終結果は次のようになりました。特に、毎年参戦してくれる徳山高専OBチームの素晴らしい出来栄へのロボット達が観客を魅了しました。

今年も小中学生を対象とした周南ロボコンに準拠したロボット工作教室を高専と市民センターで夏休みに開催しました。周南ロボコンは周南市と共催のロボットコンテストであり、2008年の第1回から数えて今年で17年目となります。この取り組みは、子供たちのみならず、製作指導や競技運営に関わる本校の学生にとっても非常に有意義なイベントですので、今後も可能な限り継続していきたいと考えています。

- 優勝 天伯之風
- アイディア賞 GPCX
- 審査員賞 HIKロボコン同好会



親子での参戦

徳山高専創立50周年記念事業の一つとして、  
徳山高専のマスコットキャラクターを制作しました

# 「卓徳巧命」

ツカサナルタクミノミコト

校内でキャラクターアイデアを募集し、その中から選ばれた情報電子工学科4年生の神崎一真さんのデザインを基に、イラストレーターの高谷薫さんがブラッシュアップし、卓徳巧命が完成しました。



キャラクター原案

情報電子工学科4年 神崎一真

まず、卓徳巧命をこのような見目麗しいお姿に仕上げてくださった萩谷薫様には、感謝してもきれませせん。生まれてこの方様々なエンターテインメントに触れてきましたが、その中でも特段私に大きな影響を与えたのがキャラクターデザインでした。重要な要素をキャラクターの細部にまで落とし込む表現力は、芸術であり技術であります。このたび、私がそんなエンターテインメントの一片にでも携われたことを心から誇らしく思います。

## キャラクターの設定

卓徳巧命は、徳山高専周辺を鎮守する神様、産土神うぶつちのみかみです。生まれは徳山高専創立日である1974年6月7日です。徳山高専創立以来、数多くの学生の行く末を見守って来られた寡黙な神様です。性別はなく、言葉も発することはありませんが、歯車の形をした後光によって学生達の未来を明るく照らしています。学校が休みの日は上衣を脱いでくつろぐ姿を見せることもあります。普段は誰も来ない山の中から学生達を眺めて過ごしています。

## 名前の由来

丘や豊かさを意味する「卓」、徳山の「徳」、優れた技術を意味する「巧」。これらの漢字で徳山地区の丘の上にある工業高専である本校の特徴を表現しています。



記念イベント・表彰の様子



### 徳山高専では、新しい時代や技術に対応できる総合的な創造力と 問題意識に基づく多面的・複合的な視点からの解決・取り組みができる 技術者教育として課題発見・解決プロジェクト科目を開始しました。

#### 徳山高専の STEAM教育

新たに全学科共通で、幅広い視点からチーム単位でプロジェクトに取り組み課題について検討を行うことから始まりまし

た。このSTEAMとは、Sが表す科学、Tが表す技術、Eが表す工学、Aが表す芸術・教養、Mが表す数学、これらの観点からモノ・コトを多面的に捉えて、学生自身が課題を発見することから始まります。

これまでの高専・大学で行われてきたプロジェクト型科目の多くは、基礎科目を終えて応用領域に達した学生たちを中心に、与えられたテーマや課題に対して、解決のためのモノづくりに取り組みものが大半でした。しかし、次の時代に向けては、Society5.0として、問題を自ら発見できる力やゴールを設定できる力が求められています。

これらを学生が主体的に学修するために、徳山高専では、それぞれの学科の専門性や科目の特徴（T・E）などを考慮しつつ、社会の幅広い分野（A）に関わる観点と、科学的な検討・研究ができる（S・M）テーマを作成することとし、学生たち自身で問題を発見できるようにしています。

また、専門基礎科目を中心とする低学年時から問題発見の意識や観点を身につけることで、専門性に偏らない柔軟な思考を育成することを目標に、一

二年生の科目として位置付けています。また、本校の一年次の学科混合学級による人間関係や交流の活性化によるコミュニケーション能力の育成とチームワークを身につけるために全学

科の学生が共に学習するよう授業デザインしています。〇二〇二四年度のテーマと活動学生のコメントを紹介します。

#### 2024年度のテーマ一覧

No.	テーマ名	概要	担当教員
1	徳山高専周辺の生態系調査	身近な生態系を実際に調査し、小中学生や地域の方に紹介し興味を持ってもらい、役立ててもらう	江本・石田
2	誰でも学べる防災アプリの開発	気軽にゲーム感覚で学べる防災すごろくをアプリとして開発することでみんなの防災力を高める	江本・西村
3	英語によるサポート・ボランティア活動	日本に住む外国人の方の困りごとに英語力を活かしてできるボランティア活動を考えてつくる	江本・上田
4	小学生ものづくり部をつくらう!	学生自身が講師を務め、ものづくりの楽しさを小学生から体験できるクラブをつくる	重村・江本
5	安全でトラブルのないSNS	便利なSNSのトラブルを減らし、安全に使用するための方法やモノ・コトを考える	菊地・増井
6	子どもを守るクルマの工夫	車内置き去りをなくすためにハード・ソフト面からの解決を考える	西村・菊地
7	環境と財布にやさしいライフスタイル	環境によくて費用を抑えた持続可能なライフスタイルを考えて提案する	菊地・渡辺
8	乗合タクシーを快適に!	中山間地域を中心に切望される乗合タクシーがニーズに応じて利用できる方法を考える	重村・西村
9	人工衛星を使った地球環境の課題解決	人工衛星の技術を知り、地球環境の問題を解決するためにどのように使うかを考える	池田・重村
10	日本の食糧問題を考える	日本の食糧自給率などの問題を自分事として捉える	渡辺・池田
11	ゲーミフィケーションを利用したシステムの開発・提案	実際にゲームデザイン要素やゲームの原則をゲーム以外の物事に応用することを考える	力・荒木
12	犬と生きる周南市	周南市の大問題の解決策を自分たちのまちの問題として考える	中村・力
13	徳山高専 ほのほの歩き	身近な道路や景観から歩いて楽しい空間を考えてやってみる	荒木・石田
14	徳山高専 サバイバル・ブックをつくらう!	誰でも役立つ、学生生活を生き抜く虎の巻を先達から学びつくる	江本・西村
15	徳山高専 設備を英語で紹介する動画をつくらう	迷いやすく多種多様な施設である高専内を英語で紹介する	上田・江本
16	高専祭プロジェクト	高専祭の縁の下の力持ちとして支えるモノ・コト・行動を考え実行する	増井・江本
17	徳山高専 オリジナルメニューをつくらう	学食メニューを学生自身が考え、試作・開発し自ら環境向上を図る	中村・増井
18	Mellow Time on Campus	学内に楽しい空間をつくるために、ベンチをデザインし製作・設置する	江本・石田
19	アートプロジェクト	高校生による近隣高校の合同美術交流展覧会を企画・運営する	江本・力

徳山高専、周南市、周南地域、山口県、日本、世界、地球、宇宙、幅広い場所の問題を発見し、自分たちと技術にできる解決を考え、時には学校を飛び出して活動しています!

#### プロジェクト活動ごとの学生コメント

#### ① 小学生ものづくり部をつくらう!

機械電気工学科2年 松岡 優輝さん  
私たちは、小学生を対象に出前授業をしました。事前準備が大変だったけど、計画力と柔軟性の大切さを知ることができました。

#### ② アートプロジェクト

情報電子工学科2年 佐古 千尋さん  
私たちは高校生の美術交流を目的とした展覧会を開き、準備から開催まで自分たちの力で、行いました。  
一つのことを成し遂げるためにみんなが協力して計画を立て実行できるようにすることがteamを通して成長できたことだと思います。

#### ③ 徳山高専周辺の生態系調査

土木建築工学科2年 城 智佳翔さん  
我々のグループは自分たちで「徳山高専周辺の生態系について」というテーマを考えて、実際に自分たちで暑い夏の山で採集・撮影調査をしました。  
作業を計画し、スケジュール管理をしたり、メンバーをまとめたりするのは大変でしたが、やりがいも感じました。この経験も踏まえ、次はもっと効率的にできるような、今後の生活に活かしていきたいなと思っています。

#### ④ Mellow Time on Campus

土木建築工学科1年 松永 好夢さん  
この授業では計画性や協力の大切さが学べました。これからの高専生活でも生かして、さらにものづくりの力を伸ばしていきたいです。

一般科目

Liberal Arts Division

LEGIT

legit は、元々「合法の、正当な」という意味を持つ legitimate の省略表現で、「質が高い、ホンモノ」という意味のスラングです。日本語で言えば、「マジで」とか「ガチで」に当たり、ネイティブスピーカーが何かかっこいいものやイケてるものを表す形容詞として日常的に使われています。

I love this music. It's totally legit. この音楽大好き。ホンモノだね。

一般科目毎年恒例の legit インタビューですが、今回は令和 6 年度に着任された一般科目の金桂英先生と上田和茂先生のお二人にインタビューを行い、先生方の legit に触れていきたいと思います！



**高橋**.. まずは中国ご出身ということですが、皆さん先生に興味津々だと思っておりますが、出身地についてお聞きしてもいいですか？

**金**.. 出身地は中国の延辺というところですが、中国の少数民族の一つである朝鮮族がたくさん住んでいる町で、飲食店の看板に中国語と韓国語が併記されています。冷麺、串焼き、スンデ等、美味しい食べ物がたくさんありますので、ぜひ皆さんにも遊びに来てほしいです。

**高橋**.. 僕も美味しいものが大好きなので、是非行ってみたいですね！これまでは留学生に日本語を教えるお仕事をしていてと聞いていますが、普段教えるときにどんなことを考えて教えておられますか？

**金**.. 学生の成長ですね。例えば、なかなか日本語で話すことができなかった学生が、半年後に普通に会話できるようになった時、「短期間に、ここまで

上達できるんだ！」と驚くことも多く、教えることにやりがいを感じます。今は国語を主に教えていますが、学生が少しでもわかるようになってくれることをいつも考えますね。

**高橋**.. 確かに学生がわかるようになることが嬉しいですね。教えるときに大事にされていることありますか？

**金**.. 学生の主体的な学びを促すことを大切にしています。それを実現するため、教員が一方的に講義をするのではなく、学生の興味関心を踏まえつつ、多種多様な活動を取り入れるように心がけています。

**高橋**.. 学生が主体的に学べるようになったら、教員冥利に尽きますよね。徳山高専の学生の印象はどうですか？ 主体的に学べてますか？

**金**.. そうだと思いますよ。真面目で素直な学生が多いように感じています。また思考力も高く、人間力も光る学生が多いので、徳山高専の学生は仲間に恵まれていますね。学生同士でどんどん学び合って、もっともっと上達できるといいなあと思っています。

**高橋**.. そうですね。僕もそれを願っています。話は変わりますが、ご趣味は何ですか？

**金**.. 趣味は料理です。小学校1年生の娘が一人いまして、休みの日は娘と一緒に



にハンバーグを作ったり、お菓子を作ったりしています。

高橋.. 楽しそうですね。ちなみにスポーツは何かされていますか？

金.. 小学生の時からスピードスケートをしていました。私は東北出身で、冬は零下10度以下になることもあるので、私の地元では冬のスポーツと言えばスピードスケートです。冬は体育の授業でもスピードスケートをしていまして、また冬の運動会ではスピードスケート競技をしています。私はスピードスケートが大好きで、リレーなどの競技に必ず参加していました。日本に来てからは、東京に住んでいた時には高田馬場にあるアイススケートリンクによく行きました。山口県だと下松にアイススケートリンクがあると聞いたので、行ってみたいです。

高橋.. スピードスケートーすごいですね！意外過ぎでしょ(笑)でもスケートリンクが下松で近いので行きやすくてよかったですね。そんなご自身の性格を一言で表すとしたら何ですか？

金.. 自分で言うのも恥ずかしいですが、「外柔内剛だ」と思います。意外とこう見えて芯が強いと思います。

高橋.. 普段優しくですけど、意思は強そうだと思います(笑)先生に向いてますね。そろそろお時間なんですけど、徳山高専の学生に対して一言お願いしていいですか？

金.. 夢を持って5年間を過ごしてほしいです。5年間は長いですが、意外とあっという間に終わってしまいます。人生に後悔の薬はないです。夢を持って、一日一日を大切に過ごしてください。

高橋.. 普段皆に優しく、自分に厳しい金先生。先生の多彩な一面を垣間見るとてもlegitなインタビューでした。是非皆さんも金先生に声をかけて話してみてください。



高橋.. 今年4月に着任されて、徳山高専の率直な印象って何ですか？

上田.. 父(3期生)や伯母(1期生)が半世紀ほど前に徳山高専を卒業しているの、初めて来た時どこか懐かしい印象を持っていました。

高橋.. 徳山高専に所縁のある方だったんですね。教職員や学生に対する印象はいかがですか？

上田.. 教職員の方々はとても仕事熱心な方が多いですね。学生さんは素直で

真面目な人が多くて、教えるのが楽しいです。

高橋.. 普段教鞭を取られる中で、どんな瞬間が特に楽しいって思われますか？

上田.. 学生さんから難しい質問が出たときは嬉しくなります。たとえ勉強が遅れていても、頑張っている人・頑張り始めた人を見た時は、熱いスポーツの試合を見る時のように胸が熱くなります。

高橋.. 教えるときにモットーにされていることありますか？

上田.. 教員の前では緊張してしまう学生さんも多いので、心理的安全性を確保して「気を遣わせるよりも頭を使わせる教員」になれるよう心がけています。

高橋.. なるほど。色んなことを考えながら学生に接しておられるんですね。そんなご自身をぜひ言うところどんな性格ですか？

上田.. 未来志向人間です。庭で盆栽の手入れをして過ごす老後を見ている。大学生の時も、「すぐに自動運転の時代が来る」と言って運転免許の取得を渋っていました。時代の流れが想像よりも遅かったため、結局は卒業間際に合宿で免許を取りました(笑)

高橋.. 未来志向もほどですね(笑)話はガラツとかわりますが、ご趣味と好きなことありますか？

上田.. 囲碁・将棋・チェスなどのボードゲー

ムが好きです。時々、周防大島に住んでいる祖父と将棋を指すのですが、まだ一度も勝ったことがないので、彼が元気でいるうちに勝ちに行きたいと思います。

高橋.. 最近ハマっていることありますか？

上田.. この前の高専祭の影響で、腕相撲に強くなりたいと思うようになりました。時々、周防大島に住んでいる祖父と腕相撲もするのですが、一度も勝つことがないので、彼が元気でいるうちに勝ちに行きたいと思っています。

高橋.. おじいちゃんが強いか、先生が弱いのか...(笑)あ！そろそろ次の授業が始まりますね！最後に学生に向けて一言お願いします！

上田.. 学校で勉強することは、スポーツジムで筋トレをするのと似ています。勉強も筋トレも、栄養や睡眠時間の確保、継続することが必要で、正しく努力しなければ身につけません。いつも計画通りにいくとは限らないので、焦らず地道に楽しみながら色んなことを学んで下さい。

高橋.. 先生も筋トレ頑張ってください(笑)ありがとうございます！

いつも教えることに熱心な上田先生のお人柄がさらによくわかるインタビューでした。皆さんも是非上田先生と一度話してみてください。

# 機械電気工学科

Department of Mechanical and Electrical Engineering

ME 2

## 2 年生研修旅行

機械電気工学科 2 年生は 9 月 25 日(水)、26 日(木)の 1 泊 2 日で中国電力の発電所見学に行ってきました。初日は島根原子力発電所を見学しました。安全対策についての理解が深まり、またテロ対策によるセキュリティの厳しさや、再稼働前の緊迫した空気に驚かされました。施設見学後には島根原子力発電所で働かれている高専卒の先輩方との意見交換会もあり、各自のキャリアプランを考える参考になりました。二日目は三隅火力発電所を見学しました。石炭を運ぶ工夫や発電後に出た灰の再利用等勉強になりました。また、実際に設備を間近で見ることができたのでその熱気を肌で感じることができました。この二日間の研修を今後の学びに活かしていければと思います。



島根原子力館にて



三隅発電所にて

ME 3

## 3 年生研修旅行

3 年生は 9 月 23 日(月)、9 月 24 日(火)の 1 泊 2 日の研修旅行で、大分県別府市にある社会福祉法人太陽の家の太陽の家ミュージアムとオムロン太陽株式会社、そして、ソニー・太陽株式会社を訪問して研修を受けました。

太陽の家ミュージアムでは、社会福祉法人太陽の家の設立の経緯や、日本での障害者就労、障害者スポーツの歴史を学びました。実際に、車椅子バスケットボール競技用や車椅子マラソン競技用など各種車椅子への試乗体験などを通して、競技用車椅子と一般的な車椅子との違いに触れました。

ソニー・太陽株式会社は、ソニー・グループが掲げる「ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョン」を最前線で取り組んでおり、社員の個性を発揮した made in Japan のものづくりを強みとしている企業です。ソニー・太陽株式会社では、企業紹介、製品紹介、製造過程の紹介の後、本校機械電気工学科 OB の東さんによる講演もご用意いただき、多様性の意義やそれを実現するための工夫などを学ぶことができました。

クラス研修旅行にあたり、関係者のみなさまに感謝いたします。



「太陽の家ミュージアム」での車椅子バスケットボール競技用車椅子体験



「太陽の家ミュージアム」での車椅子マラソン競技用車椅子体験



ソニー・太陽株式会社での研修風景



## 4年生研修旅行

4年生の研修旅行は9月24日(火)から26日(木)にかけて愛知県名古屋市近辺の企業に訪問しました。初日の24日の午後に三菱電機株式会社名古屋製作所、2日目の午前にブラザー工業株式会社星崎工場を見学しました。

三菱電機(株)名古屋製作所は、主にファクトリーオートメーションで使用されるPLAと呼ばれる機器の製造を行っている工場で、高専生の採用は3年前から行っているとの事でした。最初に企業説明をしていただき、その後主力製品の紹介見学を行い、最後にバスケットロボットとのフリースロー対決を行いました。バスケットロボットのフリースローは正確で中々歯が立たなかったです。

翌日午前のブラザー工業(株)星崎工場では、2班に分かれて見学しました。企業概要、主力製品の紹介の後、インクジェットプリンターの交換用インクのインクタンクへの詰め込みの行程などを見学しました。インクのインクタンクへの詰め込みはほぼ全自動で行われており、こういった自動

機に関する事は機械電気の最も得意な分野です。見学していた学生は興味深そうに機械の動きを観察していました。その後、最後に他高専ではありますが、高専卒業生との懇談があり、高専卒の社員がどういった業務を行うか、アパートの家賃などはいくらかなどいろいろなことを、学生たちは熱心に聞いていました。

2日目の午後はトヨタ産業技術記念館に行き、トヨタグループの製品などの見学を行いました。自動織機の変遷やトヨタ自動車の歴史など多彩な展示が数多くありました。ただ、時間があまりなくすべての展示をゆっくりとみることができなかつた学生が居たようでした。

今回の研修旅行では、メカトロニクス製品を手掛けている2社を見学したことで、自分たちが将来どういった分野で仕事をするのかということがイメージできたのではないかと考えています。この研修旅行が参加者たちのこれからの役立つことを願っています。



三菱電機(株)名古屋製作所にて



ブラザー工業(株)星崎工場にて



トヨタ産業技術記念館にて



ブラザー工業での企業説明を受講

# 情報電子工学科

Department of Computer Science and Electronic Engineering

## 1 4年生研修旅行

情報電子工学科4年生は、9月下旬に関東地区に研修旅行に行きました。1日目は富士電機東京工場で約3時間かけて業務の様子や施設の見学を行いました。2日目はNTT eCity Labと千葉工業大学スカイツリーキャンパスを訪問し、最新の情報通信技術の活用シーンを体験することができました。この工場・研究施設の見学は、これからの進路選択の参考となりました。



## 2 3年生工場見学

情報電子工学科3年生は9月12日(木)にカルビー株式会社(広島みやじま工場)と造幣局広島支局へ見学に行きました。実際の生産現場の規模を体験するとともに、身近にあるお菓子や硬貨の生産・加工過程において情報通信技術がどのように実用されているのかを学びました。



## 3 2年生クラス研修

5月18日(土)に萩市にて情報電子工学科2年生の研修が行われました。午前中は萩セミナーハウスで縄紐の結び方の講習を受けました。

午後は数人一組で萩の城下町めぐりを行い、美術館、博物館、松陰神社なども散策しました。日帰り研修でしたが、これから卒業まで一緒に過ごすクラスの仲間との親睦を深めることができました。





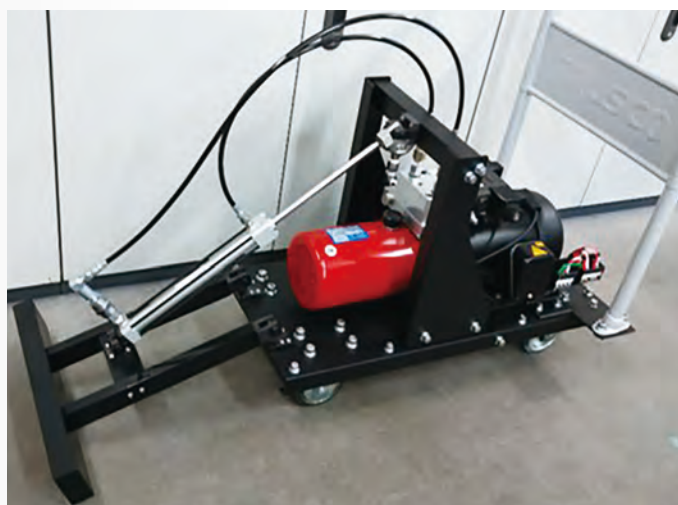
## 4 ICPC Asia Pacific Championship への出場決定

ICPCは、同じ大学で3人一組のチームを作り、チームでプログラミングと問題解決の能力を競う大会です。情報電子工学科5年棟近祐希くん、機械電気工学科5年児玉龍之介くん、情報電子工学専攻2年広政遼汰くんの3名のチームが、2月末にシンガポールで開催される2025 ICPC Asia Pacific Championshipへの出場権を勝ち取りました。7月5日(金)にインターネット上で開催された国内予選では363チーム中41位、12月21日(土)、22日(日)に横浜で開催されたアジア地区大会においても参加55チーム中11位の好成績をおさめ、アジア太平洋地域のトップが参加する上記の大会への出場権を得ました。



## 5 研究室紹介(増井研究室)

制御工学は様々な分野に応用できる、いわゆる分野横断型の学問です。増井研究室では、制御工学に基づいてネットワークシステムに対する制御理論や倒立ロボットや車両ロボットなどのメカトロ系への制御応用について幅広く研究しています。一緒に色々なモノを思った通りに制御してみませんか？



自動追尾カメラ

油圧実験装置

## 6 各種イベント

昨年度に続き、今年度もプログラミング初学者が学外のコンテスト等に参加するための経験を積むことを目的とした「学内プログラミングコンテスト」を開催しました。

男女問わず全学科の本科1年生から専攻科生まで計41名が挑戦しました。他にも学生が企業の課題の解決策を提示する「アイデアソン」、小学校での出前授業「プログラミング講座」も継続的に実施しています。



アイデアソン



# 土木建築工学科

Department of Civil Engineering and Architecture

## 窓から見える景色をつくるのがCA

成長する学生の授業風景  
実習・演習科目から

1~3年次まで土木と建築の両方の内容を学び、4年次からは自分自身の高めたい内容に応じて、土木、建築系に分かれ、応用へと学習内容が発展していきます。3年次の測量合宿は徳山高専土木建築工学科の伝統、また集大成としての卒業研究では原稿無しで発表に挑みます！

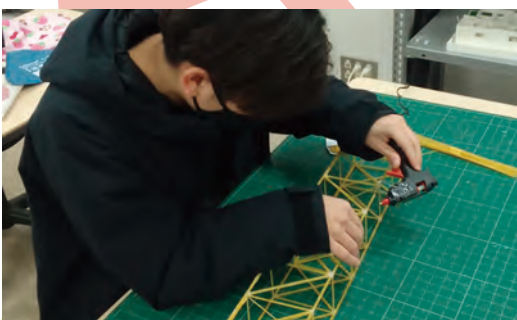
デザインする・つくる・発信していきます！  
各学年の授業風景



1年生：建築デザイン概論（建築オムニバス）  
（学内を様々な歩行者特性でUD点検中!）



2年生：測量実習（実習）  
（学内の測量で修行中!）



4年生：工学実験Ⅰ（実験実習）  
（パスタブリッジの強度を競い合います）

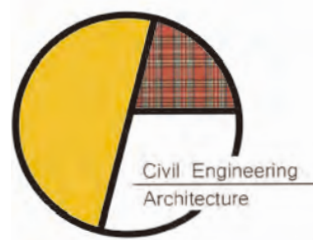


5年生：工学実験（実験実習）  
（生命の源、水質試験中!）

専攻科2年生：環境システム（実験）  
（試料採取中!）



日々の様子を伝えています！  
土木建築工学科のHP/Instagram



<https://tokuyamakosen-edu.note.jp/all>



## 今年は研修旅行は香港！ CA4

構造物・都市の見学を行う旅行形式の研修です。  
クラスで話し合って行き先を決めました！



「みんなが話し合った！」

「食事も文化体験！」

## 元気な専攻科生の紹介

本学科の専攻科生・研究生は学術研究の分野や全国高専デザコンなどで高い成果を残し、建設の様々な分野で活躍をしています！

プログラム  
研究発表会  
……9時～16時15分  
官公庁企業展示  
……10時30分～13時

日程 令和6年6月  
会場 広島工業大学

第76回 令和6年度  
**土木学会中国支部研究発**

齊藤 遥奈さん（鋼構造学研究室）  
2年連続！優秀発表賞受賞！

橋梁点検中！  
維持管理を実践

土木学会

AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA

### 共に活動する教員の紹介

AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA

長野高専から1年間限定！スペシャル・ゲスト！  
高専間交流で岩国の御実家から通われています。

考えても答えが出ないときは、  
とりあえずやってみる。



西川 嘉雄 先生  
長野高専環境都市工学科より  
専門：建築音響

Q：担当科目と研究内容を教えてください。

A：建築の設計製図系の科目を担当しています。建築音響が専門分野です。「建築空間の吸音設計」「心理状況によるうるささの閾値の変化」の研究に取り組んでいます。

手を動かすとアイデアが浮かぶ、  
そうすると問題は解決に向かう。

Q：徳山高専の良いところは？

A：学生の皆さんがよく挨拶してくれるところがいいですね。それと校舎から見る海が好きです。

Q：学生時代の思い出を教えてください。

A：友達と朝まで設計製図の課題に取り組んだこと。卒業研究が忙しくて大学の無響室に泊まっていたこと。（熟睡できます）

「やってやれないことはない、  
やらずにできるわけがない。」

Q：高専生、中学生へのメッセージをお願いします！

A：あきらめない心を持つこと、人との縁を大切にすること。そうすると自分の夢は叶います。

CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC

### 共に活動する教員の紹介

創立50周年！徳山高専 OB 教員が今年退官されます！

Q：担当科目と研究内容を教えてください。

A：水理学、河海工学などです。研究部分野は乱流の組織性の解明と制御です。

実験は素晴らしいと思います。新しいことを教えてくれるし、自分を鍛えてくれます。



渡辺 勝利 先生  
徳山高専土木建築工学科 4期生  
専門：水工学

Q：高専学生時代の思い出を教えてください。

A：高専の4年生の時にサイクリングで北海道に行ったことが思い出に残っています。

Q：徳山高専の良いところは？

A：学生のみなさんが明るく、元気で賢いところです。

Q：高専生、中学生へのメッセージをお願いします！

A：高専は5年間を自分のやりたいことに自由に時間を使えるところが魅力です。自分の成長のために完全燃焼をめざして学生生活を送ってください！



## 全国高等専門学校 プログラミングコンテスト

### 第35回高専プロコン競技部門で徳山高専チーム準優勝

機械電気工学科5年

児玉 隆之介

今年度の競技部門はスライドパズルのようなパズルを少ない手数で解くことが題材でした。私はパズルを解く過程を画面に表示するプログラムやサーバーとの通信プログラムなどを実装しました。

本選一日目は試合前の練習でプログラムが突然終了してしまったり、通信用のプログラムがサーバーに接続できなくなったりするアクシデントが起きてしまいました。通信部分は複数の実装があったため何とか回答を送信し、本選一日目を通してることができました。私たち以外にもかなり少ない手数でパズルを解く高専があったので、一

日目の夜は時間の許す限りプログラムの改善を行いました。二日目の決勝では私たちは勝ち進んだ8つの高専と戦い、準優勝という結果を残すことができました。昨年度同じチームで出場したときよりも高い順位を取ることができ、非常に嬉しい気持ちでいっぱいです。私は今年で卒業するので、後輩たちが良い成績を残せるよう応援したいと思います。

情報電子工学科5年

棟近 祐希

私たちは高専プロコンの競技部門に参加しました。この部門では、最大256×256の大きさの4色のパズルをいかに少ない手数で揃えられるかを競いま

した。私は主にアルゴリズムを考え、それをプログラムに落とし込む部分を担当しました。パズルの操作方法が特殊ということもあり、作戦を1つ思いつものにもかなりの時間を要しました。様々なアイデアを考え実装し、その中で効果があると判断したものをつくか組み合わせたプログラムを本番では使用しました。

最終的に私たちのチームが採用した戦略は最後に一気にパズルが揃うもので、準決勝で終盤一気に巻き返し1位になった時は嬉しかったです。決勝では松江高専に負け準優勝という結果になりましたが、実装の過程で様々な知識や経験が得られました。また、八戸高専や仙台高専など、普段接点のない高専

生たちと交流できたことも貴重な経験となりました。

情報電子工学科3年

門原 裕大

今年度奈良で行われた高専プロコンのテーマは、「まほろばの地で古都ロジィ開花」というもので、複雑なパズルが題材のゲームでした。去年競技部門でベスト8を経験した先輩方のもと、私は競技部門に参加しました。大会当日の光景は異様で、どのチームも自分のパソコンと向かい合ってプログラムを改良していたのを見て、自信が湧いたのは覚ええています。私たちのチームは1回戦を二位で通過しましたが、他の試合で八戸高専が私たちの手数より少なく勝っていたことの方が衝撃でした。チームでどのようなプログラムを組

んでいるかを考察し始め、先輩は他校の高専生と共に、プログラムの秘密を暴こうとしていました。準決勝では八戸が通信トラブルで敗退し、決勝で対戦せず済んだのは幸運だったのかもしれません。決勝戦では松江高専に敗れ2位となりましたが、先輩方のおかげで素晴らしい結果を残せました。この経験を糧に、さらなる挑戦を目指したいと思います。





# デザコン2024 in 阿南

## 最高難度再び。多くの困難を乗り越えてダブル受賞!!

土木建築工学科 教授(指導教員)  
土木建築工学科 助教(指導教員)

海田 辰将  
山根 達郎

今年のデザコン2024構造デザイン部門のテーマは「つなげる架け橋」。本大会では昨年度の舞鶴大会と同じく、厚さや材質が異なる4種類のケント紙と木工用ボンドを使ってスパン900mmの橋梁模型を製作したうえで、①作品は2〜4分割され120秒以内に現地で架設できること、②静的荷重40kgを載荷した状態で片側の支点を

落下させる衝撃荷重にも耐えられること、の2つをクリアすることが条件でした。昨年度はあまりの難易度の高さにはほとんどの高専が衝撃荷重まで耐えることができなかったことから、本年度の阿南大会でもまさかの同一条件での開催となりました。本校は舞鶴大会でも受賞していますが、前年上位の作品は既に各校に知れ渡っているため、さらなる進化が求められる極めて厳しい大会になることは必至でした。

多くの課題もありましたが、苦難を乗り越えて迎えた校内予選では前年度の作品から大きく進化した4つの作品が激戦を繰り広げました。その結果、「魁兜(かいてつ)」と「翠月(すいげつ)」の2作品が本戦へと進むことになりました。



架設中の「翠月」



荷重試験中の「魁兜」

また、今年度の構造デザイン部門への参加には、学内から29名という多くの学生が手を挙げました。しかし、全員をチームに割り振ると全5チームという大所帯となるため、9月末の校内予選後に本戦出場のみを編成するという初めての試みを導入しました。そのためにメンバー間でのコミュニケーションが難しくなってしまうなどの多

「魁兜」は昨年度の構造形式から抜本的な見直しを行い、2本のI型断面部材を膜材で繋ぎ合わせることで圧縮材を構成し、引張材は荷重が作用したときに歪みが生じないように接合部に様々な工夫を施した非常に細やかなトラス構造です。これにより、本選作品は171gという軽さと、わずか65秒という驚異的な速さでの架設を可能にしました。

一方の「翠月」は、箱形断面の主構をクロスケーブルで繋ぐことで座屈方向を制御するハイブリッド構造で、昨年度の作品「繫弓(けいぎゅう)」をベースに、接合部や断面形状、製作方法などを大きく進化させることで208gという軽さを実現しました。

結果として、30高専52作品の中で仕様確認を通過し衝撃荷重までクリアした作品は本校の2作品を含むわずか8作品であり、「魁兜」が第3位(優秀賞)、「翠月」が第4位(審査員特別賞)を獲得しました。多くの困難を乗り越えてW受賞を果たした今大会。優秀賞は4年連続ですが、W受賞は実に8年ぶり、素晴らしい戦績でした。次回の福井大会、さらなるステップアップで最優秀賞も...? 来年度を見据えて、デザコンメンバーの奮闘はこれからも続きます。



受賞後の集合写真



# 高専ワイヤレステックコンテスト

高専ワイヤレステックコンテストで  
最優秀賞と東光電気工事賞をW受賞

(続報)

情報電子工学科教授 浦上 美佐子  
機械電気工学科教授 片山 光亮

前号の高専だよりで本校から次の2チームが高専ワイヤレステックコンテスト(WiCON2023)の本選大会に出場することをお伝えしましたが、続報です。

## 【ワイヤレス基礎技術部門】

「クリプトクロム4」〜マグネチックループアンテナによるチームフォーミングの研究〜  
(本選大会時、機械電気工学科5年 河島悠太)



クリプトクロム4受賞の様子(最優秀賞)

## 【ワイヤレス利活用部門】

「SHIPOJI」〜LPWA通信×Maas連携に向けた離島航路動的データのGTF形式化とその活用提案〜  
(本選大会時、情報電子工学科5年 久原実桜、石原千愛、大田啓人、花田拓海、村中香穂)



徳山高専チーム(本選会場にて)

2024年3月1日(金)にAP日本橋で行われた本選大会で最終選考に残った「クリプトクロム4」はプレゼンテーションとデモを行い、審査の結果、最優秀賞である総務大臣賞を受賞しました。  
「SHIPOJI」もポスター発表を行い、東光電気工事賞を受賞しました。  
大会の様子はシティーケーブル周南でも放送されました。

# 第5回 全国高専インフラテックコンテスト2024

過去最多4チームが挑戦！果たして結果や如何に？

土木建築工学科教授 海田 辰将  
土木建築工学科准教授 段下 剛志

全国高専インフラテックコンテストは、日本のインフラが抱える課題を解決するためのアイデアコンテストです。徳山高専はこれまでに最優秀賞(2020)、特別賞(2021)、地域賞(2022)、準グランプリ(2023)と華々しい実績を挙げていることから年々参加者が増加し、第5回目となる今大会は過去最多の4チーム(総勢25名)が本選に応募しました。

作品名「R7新規開講？」  
科目番号1118 実践型橋梁実習(通年2単位…必修)は、地域で通行止めとなった橋が増えている現状から、これらの橋を「教材」として活用すべく、高専ならではの新しい「実習」を考え、そのシラバスまで作成しました。

作品名「インフラ廃材よ、よみがえれ！とくやまりパイパルミラジウム」開館します！  
は、周南市内の商店街に工事現場から出てくる「廃材」を展示し、インフラが支えてきた地域の歴史とともに、劣化原因や最新の補修技術等を紹介するミュージアムの提案です。

作品名「トンネルずりで作るろ過装置付きミニメント」しゅうなん泥祀り〜は、トンネル掘削工事で大量に発生する「石」を使って現場で濁水を浄化することを試み、実際にろ過装置を製作して濁度の変化からその効果を明らかにしています。

作品名「インフラ廃材よ、味津々の女子学生たちの提案であり、3D都市モデル空間とランニングマシンをリンクさせ、アプリでポイ活も狙ったユニークな提案です。  
結果としては、惜しくも受賞に至りませんでした。柔軟な発想を次々と生み出す参加学生たちに敬意を表します。なお、本年度のテクコンでは、メインビジュアルコンテスト(賞金5万円)が同時開催され、土木建築工学科2年生の石津雅さんの作品が見事グランプリに輝きました！このデザインは、令和7年度テクコンのポスターやグッズなどのメインビジュアルに採用されます。「しつかり・ちゃっかり」、それが徳山高専テクコンチームです。

作品名「とつとこ走るよブラ太郎(ダイエツ党)」は、ランニングしたいけど人に見られ



通行止めの橋を使った実習の提案



インフラ廃材を魅せる商店街の活性化



トンネルずりを活用した濁水浄化技術



3D都市モデル×美と健康



第6回インフラテックコンテスト



# プログラミング甲子園2024 優勝!

情報電子工学科准教授 宮崎亮一

本大会は3人1組のチームで参加し、予選を通過した上位8チームがトーナメント形式で競う初開催の大会です。情報電子工学科5年の棟近さんは他校の競プロ仲間とチームを組んで参加しました。

情報電子工学科5年

## 棟近 祐希

予選は2時間で20問の競技プログラミング問題を分担して解く形式で、私たちのチームは19問を解き3位で通過し



受賞の様子

ました。本選では、2体のロボットを操作するAーを作成し、相手より多く色を塗る競技で戦い、3試合に勝利して優勝しました。本選のAー作成は1週間という短期間で、チーム内で効率よく役割を分担することが鍵となりました。特に、私が担当したゲーム終了間際に逆転を狙うプログラムが勝利に貢献し、大きな達成感を得ました。優勝は非常に貴重な経験となりました。

# サイバー攻撃共同対処訓練

情報電子工学科助教 荻原宏是

サイバー攻撃共同対処訓練は、株式会社川口設計代表取締役の川口洋氏が考案された演習システムである「MicroHardenig (マイクロハーディング)」を用いて行う訓練です。このプロジェクトは複数人(5人程度)でチームを組み、訓練参加者が運用するサイトに対して繰り返し行われるサイバー攻撃の向上を目指します。本訓練ではショッピングサイトの運営を題材に、45分を1セット



表彰状授与

とする同じ内容のサイバー攻撃を複数セット繰り返しします。セットを重ねる度に多様な攻撃手法やその対処への理解を深めることができ、システムの安定稼働に繋がる仕組みです。参加チームはサイバー攻撃と並行して稼働する商品自動購入システムを上手く稼働させることで、その売り上げをスコアとして競い合います。

9月6日(金)に開催された本訓練には、情報電子工学科4年の市川愛徠さん、市川原莉緒さん、竹本あいさん、荻原宏是助教、新田貴之教授の5人で参加し、同日参加の大学、高専、民間企業のメンバーから構成された20チームの中で最高スコアを獲得しました。その結果、10月22日(火)に山口県警察本部より表彰状の授与を受けました。参加した学生からセキュリティに関する更なる勉強意欲も窺えており、次年度に繋がる良い経験になったのではないかと思います。



サイバー攻撃共同対処訓練の様子



# 高専ロボコン2024

機械電気工学科准教授 池田 将晃



徳山高専チーム(本選会場にて)

高専ロボコン2024大会テーマは『ロボたちの帰還』でした。昨今話題となった月面探査機SLIMの「ピンポイント着陸」や、はやぶさ2の「サンプリングターン」などもイメージした、ロボットが狙った場所に着地し、オブジェクトを回収してそれを元の場所に持ち帰るといった競技でした。接地できないエリアを越える必要があり、2台以上のロボットを使用して競技する必要があります。

徳山高専から出場した2チームはAチームの「セパロール」とBチームの「GOGO!ロケット」です。名前の

由来はそれぞれ、Aチームは複数のロボット達が分離(セパレート)して役割(ロール)を果たすためそれぞれ活動することから、Bチームはロボットが発射されるイメージと一昨年度の志を引き継いだことから決められました。接地できないエリアを越えるため、両チームともロボットを強い力で押し出す機構を採用しました。発射されるロボットは、Aチームがオブジェクトを回収して発射する機構と橋を掛けて渡る機構の組み合わせ、Bチームが回収して発射する機構に専念する方針でした。両チーム計10台のロボットが必要なアイデアでした。中国地区大会では、製作が間に合わずに両チームともスタートゾーンから出られず、成果を発揮することなく敗退しました。

今年度から大会の時期が2週間ほど早くなりましたが、今のやり方はスケジュール管理等のマネジメントに課題があると学生達自身で気づき、大会の後に早速、来年度に向けた方針を真剣に話し合っていました。

このような学生達の前向きで真摯な姿勢が、できるだけ実りある体験に繋がるような環境づくりを心掛けていきますので、今後とも応援よろしく願います。

# 高専英語プレコンへの挑戦 情熱を英語で伝えよう！

一般科目准教授 上田 真梨子

今年の中国地区高専英語弁論大会は動画による審査になり、プレゼンテーションシングル部門に機械電気工学科2年の弘中優衣さん、暗唱部門に情報電子工学科2年の山本亮太さんが応募しました。弘中さんは昨年参加したフィリピンの語学研修で見た海の美しさから着想を得て、海洋ごみ問題についてプレゼンを行いました。山本さんは、Stay Foolish. の言葉が有名なSteve Jobsのスピーチを暗唱し、3位に入賞しました。

全国高専英語プレコンのチーム部門予選には、土木建築工学科1年の大井花凜さんと坂東海音さん、情報電子工学科1年の富永陽愛さんが挑戦しました。ライフサイエンス・アースサイエンスの授業で取り組んだ睡眠についてのプレゼンを発展させて、独自に1年生へアンケート調査を行った結

果を盛り込んだプレゼンを作成しました。動画審査に応募した14校の中から本選出場の8校に選ばれた結果となり、1月26日に東京で行われた本選にて堂々たるプレゼンを披露しました。



暗唱部門 山本さん



チーム部門 富永・坂東・大井さん



シングル部門 弘中さん





# 受賞・表彰ニュース

## 中国四国学生アーチェリー王座決定戦 男子団体 準優勝

情報電子工学専攻

2年 原田 隼希 さん

機械電気工学科

5年 川村 慎之介 さん

情報電子工学科

4年 今北 裕馬 さん



## 第72回中国高等学校選手権 水泳競技大会

- 50m 自由形 5 位
- 100m 自由形 7 位

情報電子工学科

3年 森田 大地 さん

- 100m バタフライ 8 位
- 200m バタフライ 6 位

土木建築工学科

2年 富永 海里 さん



## Japan AT フォーラム 2024 in 東京 研究成果発表 最優秀賞

機械制御工学専攻

1年 内山 育実 さん

機械電気工学科

5年 奥田 颯大 さん



## 技能検定 成績優秀者表彰

機械電気工学科

5年 奥田 颯大 さん

機械電気工学科

3年 菅本 綾乃 さん



## 山口県高等学校総合体育大会 卓球競技 女子団体ベスト8入賞

土木建築工学科

3年 八木 菜摘 さん

3年 大田 悠以 さん

機械電気工学科

2年 生田 美羽 さん

土木建築工学科

2年 住出 若菜 さん



## 第3回 POLUS 木造住宅インターハイ 造形・造作部門 佳作

土木建築工学科

3年 金子 まりも さん

3年 背戸 隼 さん

3年 窪田 滯 さん



## SAWATA ウッドデザイン賞 2024

- SAWATA  
ウッドデザイン大賞

土木建築工学科

5年 江副 聖 さん

5年 野原 由菜 さん

5年 三津田 佳歩 さん

4年 中村 太一 さん



- 建築士賞

土木建築工学科

5年 山根 優志 さん

5年 今岡 咲絵 さん

5年 原田 芯吾 さん

4年 川元 花菜 さん



## 第11回福岡女学院短歌コンクール 入賞

機械電気工学科

1年 藤井 悠与 さん



本校ホームページ「News & Topics」に掲載されたものです



## 第59回全国高等専門学校体育大会

### ハンドボール部、全国高専体育大会連覇！

#### 函館の地で大活躍

ハンドボール部顧問 池田 光優



戦いの後



決勝にて その1



決勝にて その2



決勝にて その3

ハンドボール部の全国高専体育大会は令和6年9月6日(金)～8日(日)に北海道函館市の函館アリーナで開催されました。

昨年(令和5年)の全国大会では攻撃も守備も完成度がそれほど高くなく、決勝でなんとか2点差で勝つことができたというところから、今年度の目標は、高専大会において全ての対戦相

手に圧倒的な差を見せつけて勝つ、という目標を掲げてこの1年攻撃や守備の完成度を高めていきました。昨年のチームには5年生がおらず、多くの選手が今年度も継続して活動を続けたので、上記の目標に対しても県内の強豪校との練習試合を通じて順調にチーム力を高めていきました。その結果、全国大会でも予選リーグ2試合、準決勝、決勝の全ての試合で10点差以上

の点差で勝利することができ、当初の目標を達成することができました。

昨年9月から休日の夜間の練習にご協力いただいた選手の保護者の皆様、色々とご迷惑をおかけしましたが、選手たちは昨年掲げた目標を見事達成することができました。ご協力感謝致します。

これからは今年のような圧倒的な強さを見せることは出来ないかもしれませんが、選手たちは頑張つて今年のレベルに少しでも近づけるように頑張つていきますので、引き続きご声援の程お願い致します。

## 水泳部の活動報告

水泳部顧問 桑嶋 啓治



徳山高専水泳部は、北海道の野幌総合運動公園プールで実施された全国高等専門学校水泳競技大会に参加し、昨年に引き続き団体2位の好成績を収めましたので報告します。この大会を目標として選手たちは日々のトレーニングを頑張ってきました。また、4月の段階から飛行機のチケット、宿泊等を全て予約し絶対に全国大会に出場するという意気込みが強く感じられました。

今年度の中国大会は、山口のさら博記念公園プールで実施され、本校の教職員、学生達の協力のもと実施することが出来ました。この場をかりて感謝申し上げます。大会は大いに盛り上がり、大会記録が16個も出るなど、非常にレベルの高い内容となりました。なお、全国高専水泳大会の学校別順位においても、徳山2位、米子4位、呉6位にランキングされ中国地区のレベルの高さが証明されました。その様な中、中国地区大会において団体優勝3連覇を成し遂げ、地元開催に花を添えることが出来たことを嬉しく思います。この様な立派な成績を収めることが出来たのも選手たちの頑張りに加え、保護者の皆様の献身的なサポートが大きかったです。ありがとうございました。

メダルにつながった結果は、4×100mメドレーリレー(岡、牛見、新部、森田)で準優勝、牛見元春は平泳ぎで100m優勝、200m準優勝、森田大地は自由形で50m準優勝、50m第3位、豊島幸奈は100mバタフライ第3位、200m個人メ



# 令和6年度 就職・進学先一覧

## 本科

学科	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科
就職先	出光興産(株)	(株)アイテックス	青木あすなる建設(株)
	ENEOS(株)	(株)イシダ	(株)宇部工業
	(株)OKAMURA	(株)ヴィッツ	鹿島建設(株)
	(株)キャストム	NECソリューションイノベータ(株)	川田工業(株)
	キヤノン(株)	(株)NTTデータフロンティア	極東興和(株)
	キヤノンマーケティングジャパン(株)	ENEOS(株)	五洋建設(株)
	山九(株)	関西電力(株)	(株)シーエム・エンジニアリング
	(株)ジャネックス	コニカミノルタジャパン(株)	ショーボンド建設(株)
	神鋼テクノ(株)	(株)Sun Asterisk	大成建設(株)
	(株)SUBARU	ソフトバンク(株)	中国電力(株)
	ダイキン工業(株)	ダイキン工業(株)	中電技術コンサルタント(株)
	武田薬品工業(株)	大裕(株)	東ソー(株)
	(株)竹中工務店	チームラボエンジニアリング(株)	日本空港テクノ(株)
	中国電力(株)	中国電力ネットワーク(株)	(株)乃村工藝社
	中国電力ネットワーク(株)	東京ガス(株)	(株)日立製作所
	テルモ山口(株)	トーテックアメニティ(株)	松井建設(株)
	東ソー(株)	(株)ニコン	三井化学(株)
	東洋鋼鋳(株)	日鉄ソリューションズ九州(株)	若築建設(株)
	TOTO(株)	日東電工(株)	国土交通省中国地方整備局
	(株)トクヤマ	日本製鉄(株)	山口県
(株)ニコン	(株)日立産業制御ソリューションズ	周南市	
日本精工(株)	(株)日立ハイテク		
日本製鉄(株)	本田技研工業(株)		
(株)日立製作所	三菱地所プロパティマネジメント(株)		
(株)日立ハイテク	三菱電機(株)		
富士電機(株)	三菱電機エンジニアリング(株)		
三菱重工業(株)	ルネサスエレクトロニクス(株)		
三菱電機エンジニアリング(株)			
三菱電機プラントエンジニアリング(株)			
ルネサスエレクトロニクス(株)			
進学先	徳山工業高等専門学校専攻科	徳山工業高等専門学校専攻科	徳山工業高等専門学校専攻科
	筑波大学情報学群	千葉大学工学部	豊橋技術科学大学工学部
	長岡技術科学大学工学部	筑波大学情報学群	三重大学工学部
	東京科学大学工学院	東京大学工学部	広島大学工学部
	豊橋技術科学大学工学部		山口大学工学部
	大阪大学工学部		立命館大学理工学部
金沢工業大学情報フロンティア学部			

## 専攻科

専攻	機械制御工学専攻	情報電子工学専攻	環境建設工学専攻
就職先	トヨタ紡績(株)	アイ・システム(株)	川田工業(株)
	本田技研工業(株)	(株)NTTデータMHIシステムズ	(株)笹戸建築事務所
		(株)カプコン	ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)
		富士通(株)	大成建設(株)
		(株)フジテクノ	日本製鉄(株)
			日本工営(株)
		(株)ニュージェック	
		(株)横河ブリッジ	
(大学院先)	電気通信大学大学院情報理工学研究科		
	東京科学大学大学院工学院		
	大阪大学大学院工学研究科		

## 自由応募にもひるまず 応募するための準備をしよう

5年担任 / 機械電気工学科 福田 明



2024年度の機械電気工学科の卒業予定者は47名であり、就職希望者が34名、進学希望者が13名でした。学科への求人数は過去最多となり、初めて700社を超えました。

今年度の学生は地元就職の希望が多く、就職内定先としては山口県内が12名、中国地方と近隣の福岡県・大分県を合わせると17名となり、就職希望者の半数となりました。業種は製造業がほとんどですが、電気や建設業の高専生に対する採用意欲が特に高くなっており、大手ゼネコンからの内定も出ています。今年度は進学の割合が例年に比べて少なくなりましたが、大阪大学や東京科学大学(旧東京工業大学)などの合格が出ています。一方で、地方国立大学の合格が難しくなっている印象を持ちました。

今年度の就職活動の特徴としては、以前に比べて早期であったことが挙げられます。4年次の夏季インターンシップから採用活動と考える企業も多くありました。インターンシップ先を検討するにあたり、低学年のうちからキャリア・デーなどに参加し、様々な

企業や業界について知っておくと

有利になるでしょう。また、自由応募が増えたことも大きな特徴でした。例年は学科に1名いるかないないかだった自由応募が、今年度は6名となりました。学校推薦制度は学生の就職活動の自由を拘束するとして、高専本科卒の学校推薦での募集を廃止した企業がほとんどです。裏を返せば、学校推薦であっても面接が悪ければ不合格になります。部活や学生会、コンテストや留学、ボランティアなど、低学年のうちから失敗を恐れずチャレンジしましょう。面接対策に限らず、成功であれ失敗であれ、チャレンジした経験はこれからの人生の糧になるものと思います。

## 今年度の就職・進学状況

## 多様化する進路選択と 求められるチャレンジ精神

5年担任 / 情報電子工学科 宮崎 亮一



令和6年度の情報電子工学科5年生の卒業予定者は36名(男子29名、女子7名)で、そのうち就職希望者は29名、進学希望者は7名(専攻科進学希望者が3名)でした。本学科には650社からの求人票が届き、企業から高専生に非常に高い評価をいただいています。

今年度の求人では、従来の情報系に加え、半導体関連企業からの求人が増加しており、この傾向は今後も続くと考えられます。就職活動は例年通り進み、1月中旬の進路希望調査を経て、2月中旬には内々定を得た学生もいました。夏のインターンシップは全員が現地参加し、コロナ禍で主流だったオンライン形式から復活したことで、実践的な経験を積むことができました。さらに冬休みの短期インターンシップにも積極的に参加し、企業との接点を広げていました。

放課後には卒業生による会社説明会が行われ、情報や電子と結びつかな企業でも、卒業生の仕事を通じて学びと仕事の関連性を理解する機会となりました。また、給与や福利厚生、

海外進出のチャンスについても学生が積極的に質問するなど、多角的に企業を評価する姿勢が見られました。

進学は例年より希望者が少ないものの、希望通りの進学先に進むことができました。各大学の出題傾向に苦勞しつつも、高専で培った専門知識を活かし良い結果を得ています。

就職希望者に対する求人票の数は20倍を超える状況ですが、それが採用の容易さを意味するわけではありません。実際に不採用だった例もいくつもあります。特に、学生時代に力を入れたこと(ガクチカ)のエピソードを持たない学生が一定数いる現状では、自己アピールが難しくなります。

4年生の冬になってからは、新たにガクチカを作るのは難しいため、入学してすぐに能動的にチャレンジを始めることが重要です。幸いなことに本校では多種多様なイベントやコンテストなどがあります。これを読んだ下級生には、ぜひ、堂々と自分のガクチカを語れるよう、積極的にさまざまな経験を積んでほしいと思います。



## 毎日の選択の結果が未来を創る 毎日大切に

5年担任 / 土木建築工学科 中川 明子



土木建築工学科5年生の卒業予定者は41名(男子17名、女子24名)で、今年度も多様な選択肢の中から進路を選ぶことが出来ました。

民間就職は24名(男子7名、女子17名、県内就職…3名)となりました。

継続的な働き手不足を背景に、

2025年土木建築工学科卒向けには456社からの求人があり、大企業から中小企業まで応募のチャンスが幅広くありました。一方、4年次のインターンシップでお世話になった企業へのアプローチを引き続き行った学生も

おり、早い段階から進路を見定めていた学生がいたことが印象的でした。昨年引き続き、以前は考えられなかった大手企業の総合職として採用される例が標準となりつつあります。また、例年よりも遅くに就職活動を始める例もありましたが、企業側の募集期間が長くなっており、秋以降も内々定を頂く事例があり、内々定を頂く期間が約1年間ほど続いたことが印象的

でした。次第に通年採用に移行していく可能性を感じた1年でした。

例年多い技術系公務員については、

今年度は4名(男子1名、女子3名、県内就職…3名(山口県1名、周南市2名))と少なめでした。技術系公務員も募集が増えており、公務員希望者は多くの組織の中から自分のライフスタイルに合わせて就職先を選択できる状況となっております。

大学進学は9名(男子7名、女子2名)でした。それぞれ、自分の次の目標達成を見据えて進学先を決めています。

進路活動に伴走する中、学習にしっかり取り組んでいることはもちろんですが、それに加えて、「在学中から色々なことに積極的にチャレンジし、そのことをアピールできる学生は強い」ことを実感しました。就職のために色々な活動をする訳ではありませんが、何かに頑張っていて取り組み、仲間と一緒に解決してきた人、社会人として活躍できるポテンシャルのある人が評価されている点は否めません。低学年次からの日々の行動の選択の結果が未来に繋がっています。低学年時からの色々な取り組みを大切にしてほしいと思います。

例年多い技術系公務員については、

## 専攻科の就職・進学活動状況

専攻科長 / 情報電子工学科 浦上 美佐子



令和6年度(2024)の専攻科修了予定者数は、機械制御工学専攻(以下、MC)6名、情報電子工学専攻(以下、CE)5名、環境建設工学専攻(以下、EC)8名です。就職希望者数/進学希望者数は、MCは2名/4名、CEは5名/0名、ECは8名/0名で、就職・進学率は100%でした。

就職活動では、長期インターンシップ派遣先の企業に就職するケース、資格取得や研究プロジェクトを通じた企業が求める専門性により、知名度の高い企業に就職先を決めたケースもありました。大学院進学では、高専専攻科修了生対象の推薦入試制度を活用したケース、国立大学大学院への推薦試験で合格したケースもみられました。

これら就職者のうち、県内就職率をみると13%で、MCは0名(0%)、CEは1名(20%)、ECは2名(25%)でした。一方で、県内企業の人事担当者との話題の中で、本校専攻科を修了後、大学院への進学を経て、県内企業に就職したケースがあったことを伺っています。このように、本科5年間で学んだ基礎力に加え、専攻科2年間で応用知識を学んだ上で実践的対応力を持つ専攻科カリキュラムを修了した学

生は、その技術者としての資質を高く評価されており、多彩な道から、自分が進みたい道を選んでいきます。

以上のように、本年度の就職・進学状況を報告しましたが、専攻科では定員数が限られており、母数が少ないため、毎年の就職率や進学率には変動があります。過去5年間の状況は、学校HPで掲載しておりますのでご覧ください。(https://www.tokuyama.ac.jp/course/shinno-senkouka.html)

さて、今年度の専攻科修了生向け求人数は、昨年度を上回り、MC653件、CE606件、EC400件でした。このように、年間を通して多くの企業からの求人が寄せられています。県や市町等の技術職員採用試験案内も多く届くようになってきました。

加えて、大学院入試説明会依頼も多くなりました。特に、高専専攻科を対象とした推薦入試制度を持つ大学院も増えてきたように感じます。

最後に、自分らしさが大切にされる時代だからこそ、自分軸をしっかりと持って、主体的に進路を選ぶには、日々の研鑽を重ねていくことが何よりも大切であると思います。

# わたしの就職進学STORY



希望する会社や大学に就職・進学した学生はどんな学生生活をおくってきたのか？今年度卒業・修了する学生に徳山高専の5年間7年間を振り返ってもらいました。徳山高専生等身大のリアルストーリーと後輩へのメッセージです。

機械電気工学科 **中本 朝陽**

研究室 西村研究室(材料工学研究室)  
就職先 ルネサスエレクトロニクス株式会社



友達と協力しよう!!!



## 後輩に一言

私が高専生活で大切にしてきたことは、物事に取り組む際に楽しむ気持ちを持つことです。寮生活では仲間と協力し、課題を通じてチームワークの重要性を学びました。そして、技術的な問題に直面しても、困難を楽しむ気持ちで解決策を見つけ、乗り越えることができました。

## 就職までの道のりを紹介!

### 中本さんのリアルSTORY

#### 本科1年

山口高校に落ち、徳山高専に入学。就職が進学か決めていなかった。

バスケット部に入部。

#### 本科2年

ロボット製作に苦戦。

乙種第4類危険物取扱者を取得。

#### 本科3年

創造製作の単位を落とす。

第一種電気工事士を取得。

進学にするか、就職にするか悩む。

#### 本科4年

悩んだ末に就職に決める。

システム安全アソシエイトを取得。

インターンに参加。

いろいろな企業の人の話を聞く。

半導体に興味を持つ。

ルネサスエレクトロニクスの面接を受ける。

#### 本科5年

夏の最後の高専大会に力を注ぐ。

卒業研究で使う機械の不具合と闘いながら進める。

機械電気工学科 **児玉 隆之介**

研究室 飛車研究室  
進学先 東京科学大学 工學院システム制御系



興味のあることに好きなだけ挑戦しよう



## 後輩に一言

やってきたことはどこで役立つかわからないなと感じました。ロボットが好きで高専に入学しましたが、高専生活を振り返るとプログラムを書いていた時間の方がずっと長かったように思います。ただ、プログラミングの能力はロボット製作で無駄になることはなく、むしろ製作の幅を広げてくれました。自分の興味の赴くままに、様々なことに挑戦してみてください。

## 進学までの道のりを紹介!

### 児玉さんのリアルSTORY

#### 本科1年

新型コロナウイルスのため遠隔授業から学校生活がスタートする。

競技プログラミングのサイトに登録し、プログラミングを勉強し始めた。

これは現在まで続く趣味になる。

#### 本科2年

2月 情報オリンピックに出場する。

同年代の強い人の凄さを目の当たりにし、モチベーションになる。

#### 本科3年

8月 SuperConに出場する。スーパーコンピュータの「富岳」を間近で見ることができた。

#### 本科4年

8月 インターンシップで画像処理について学ぶ。その後、画像処理を使ったロボットを作ってみた。

10月 自律走行ロボットに興味を持つ。

11月 I-CPCCに出場する。

3月 DDCCに出場する。半導体の加工装置のプログラムを作っている人の話を聞いた。

#### 本科5年

6月 豊橋技術科学大学を受験、合格。

6月 東京大学を受験、不合格。

8月 プログラミング甲子園に出場。

8月 東京科学大学を受験。面接の待ち時間に名古屋大学が不合格だったことを知り、後が無くなる。

9月 東京科学大学に合格。

10月 同じメンバーで高専パソコンに出場する。

12月 I-CPCCに出場する。





人を大切に  
時間をうまく  
使おう!



就職までの道のりを紹介!

富永さんのリアルSTORY

本科1年

4月 入学するもコロナの影響で学校が休校になり学校に行けなくなる。

7月 陸上部に入学するも試合がなくモチベーション維持に苦しむ。

電気に対して苦手意識を持つ。

本科2年

1月 ピアノのコンクールに出場するも予選落ち。

毎年の長期休みを利用して、友達にプログラミングを教えて貰うようになる。

本科3年

9月 校内プロコンで最下位になり、プログラミングを学び直す決意をする。

本科4年

7月 中国高専大会で3位になり念願の全国高専大会出場を決める。

9月 インターンで通信業界の企業に行くも通信は自分に向いてないと感じる。

9月 校内プロコンで去年より大幅に順位を上げ企業賞を貰う。

10月 基本情報技術者試験を取得する。

10月 友達に勧められWebアプリ開発を始める。

1月 1dayインターシップに参加しこの企業にエントリーすることを決める。

2月 面接を3回受け内々定を頂く。

本科5年

9月 高専テクノのプログラムに参加し画像処理について学ぶ。

11月 初めてフルマラソンに出場し完走する。

2月 ピアノのコンクールで金賞を受賞する。

後輩に一言

自分が夢中になれる  
分野を見つけ  
楽しんで勉強しよう!



進学までの道のりを紹介!

廣田さんのリアルSTORY

本科1年

親からの薦めとオープンスクールでの経験から高専に入学。

コロナで遠隔授業になり、友達作りに苦戦。

本科2年

山本先生の微積の授業で、数学の楽しさに気付く。

数学の勉強を頑張り出し、勉強習慣が身に付く。

本科3年

順位が高かったため、進学を決意。

本科4年

基本情報技術者取得。

編入体験記を読んだり先生に相談したりして、志望校を九州大学、筑波大学、広島大学に決定。

TOEIC 830点取得、英語の楽しさに気付く。

アルゴリズム勉強のため競技プログラミングを始める、もつと早くからやっておけばと後悔。

数学を自分で教科書を読みながら勉強する。

本科5年

広島大学 情報科学部 情報科学科に合格。

九州大学 工学部 電気情報工学科に不合格。

筑波大学 情報学群 情報科学類に合格、筑波大学へ進学を決める。

この5年間、周囲の人々に支えられてきました。勉強では友達の手助けを受け、部活では先輩や後輩に支えられました。高専入学後は課題や勉強が増え、ピアノとの両立が難しくなりました。時間は限られています。様々な人の支えがあったからこそ、困難を乗り越えることができました。だからこそ、周りの人を大切に、限られた時間を有意義に過ごしてほしいと思います。

私は勉強が得意であり情報系の分野をさらに深く学びたいという思いから大学進学を決意しました。大学編入に向けて受験勉強をする中で、勉強は楽しむことが一番大切であると実感しました。私は、受験勉強をしている時、数学やアルゴリズムを楽しみながら勉強していたため、苦ではありませんでした。自身が興味を持っている分野について学び、知識を深めるのは非常に楽しいことであると実感しました。

私は昔、勉強はただの義務でつまらないものだと思っていました。しかし、高専で数学やアルゴリズムを学ぶ内に勉強に楽しさを見出すことができました。私にとっては数学とアルゴリズムが楽しめる分野でしたが、人それぞれ夢中になれる分野があると思います。みなさんも自分が夢中になれる分野を見つけ、楽しみながら勉強してください。

土木建築工学科 **林 真穂**

研究室 コンクリート工学研究室  
就職先 鹿島建設株式会社



後々楽しかったと  
思える選択を



後輩に一言

課題やテスト、常にギリギリの5年間でしたが、やりたいことはやりきった楽しい学生生活だったと思います。部活や語学留学、習い事、文化祭のダンスなど色々な経験を積んだ5年間は履歴書や面接会場にも役立ちました。3年時のキャリアアデーでたまたま説明を聞いた会社を就職先に選びましたが、高専で経験する1つ1つが自分の将来を決める重要なきっかけになると思っています。

就職までの道のりを紹介！

林さんのリアルSTORY

本科1・2年

コロナ禍だったためオンライン授業で高専生活スタート。

陸上部に入学するもコロナの影響でなかなか大会に出場できず。

学年末の爆弾課題に苦戦しながら実習や設計、自由な高専生活を楽しむ。

本科3年

陸上の大会に積極的に参加し中国総体出場、全国高専大会、県総体でも入賞を果たし高専生活では陸上の全盛期。

大島での測量合宿では仲間と協力してやり遂げる楽しさを学んだ。

本科4年

夏休みに学校のキャリアアデーで説明を聞いた鹿島建設のインターンシップに参加、直感でこの会社を目指そうと決める。

友達からの誘いでセブ島へ短期語学留学、全てが新鮮で海外生活の楽しさを知った。

1月に鹿島建設との関わりも深く、月面の研究に取り組み研究室に所属することが決まる。

本科5年

春休みに会社説明会やSPI試験、面接を通して鹿島建設から内定をもらう。

7月に研究関連で富士山登頂を果たす。

10月の内定式にて正式に内定をもらう。

土木建築工学科 **木村 陽仁**

研究室 渡辺研究室(水工学研究室)  
進学先 専攻科(環境建設工学専攻)



学生時代を  
全力で楽しもう!!



後輩に一言

5年間徳山高専で過ごしてきて今思うことは、「もう卒業か」です。5年間つめてめちゃくちゃ早いです。三者面談のときに親に「学生時代はできるだけ遊びんさい」と言われ、今思えばその通りです。皆さん、勉強はほどほどにして、学生の間に楽しい思い出をいっぱい作ってください!!

進学までの道のりを紹介！

木村さんのリアルSTORY

本科1年

兄が普通高校でセンター試験の勉強をしていて、「そんなの耐えられない!」と思ったので高専に推薦で入学。

コロナ期でオンライン授業

卓球部に入学。高城寮に入寮。

寮の先輩が怖すぎて、萎縮。(陰きむらになる。)

本科2年

専門科目ちよつと得意かなと思ったりしたこともあった。

本科3年

集中測量実習で、少しかだけ貢献してグループワークが好きになる。

寮で美化厚生部長になる。

初TOEICで290点。(12月)

完全に就職する気だった。

本科4年

初全国高専大会に出る。(8月)

インターンは県内のゼネコンと市役所に。(8月)

高専祭の時の三者面談で、親と先生に進学を進められ、専攻科進学に決める。(11月)

問題のTOEICは、000点でギリギリセーフ。(12月)

本科5年

研究室でうるさい。(陽きむらになる。)

推薦で専攻科合格。(5月)

脱獄(寮から出て、一人暮らしを始める。)(8月)

中国高専大会で部活は引退。(8月)



機械制御工学専攻 **藤本 上総**

研究室 片山研究室  
進学先 東京科学大学大学院 工学院



日本の夏 蝉の声 いま静かにして  
木の下に宿れるなり 我が心  
その宿れるなりと同じき 安き心にある

後輩に一言

7年間という長い期間で様々なことが学べました。また、入学時に不安視していた「笑顔の無いロボットを作るロボットのよな学校生活」にもならず、楽しい思い出がたくさんです。あれもこれも友達や先生方のおかげです。まじ感謝です。彼女ができなかったことだけが唯一の心残りです。自分自身も反省ですが、学校の制度も見直してもらいたいものです。

進学までの道のりを紹介！

藤本さんのリアルSTORY

本科1年

男だらけの教室で、ものさしに指を突っ込み抜けなくなり焦る少年を見つけて楽しい学校生活を予感する。  
ハンドボール部に入部。愉快的仲間と出会い楽しい学校生活を予感する。

本科2年

学校生活に慣れてしまい、残りの学校生活が退屈な日々になるのではと憂う。  
先輩、後輩のおかげで、全国高専大会で優勝する in 徳山。

本科3年

コロナで前期がリモートに。遠隔授業とモンゴルの相撲観戦の両立に成功し、成績が上がる。  
専門科目が増えてきたが、何一つとして興味がわかず後悔する。  
友人とリモートで四股練。下半身強化に努める。  
モンゴル語に興味がわき、少し勉強。

本科4年

Дурвиг хувилас гэлэг нандин зүйл гэдгийг ойлгосон。  
Ахлах, багачууддаа баярлалаа. Иварт техникийн коллежийн үндэсний тэмцээд дахин түрүүлэх болно. Юки гар күүбээс золор тайлнаа.

本科5年

モンゴル語の勉強を断念する  
授業中に長めのまばたきをする機会が増える。課題とティッシュがたまる日々を過ごす。

専攻科1年

インターシップで他分野の研究室に受け入れてもらい、興味があることを発見。大学院進学を決意。  
TOEICの勉強に励み、最低目標になんと到達。

専攻科2年

本番の手こたえたの無さは裏腹に、大学院受験に合格。

情報電子工学専攻 **広政 遼汰**

研究室 宮崎研究室  
就職先 株式会社カプコン



迷ったらとりあえずやってみよう！  
とりあえずやってみよう！  
やってみよう！

後輩に一言

迷ったら「とりあえずやってみよう！」という気持ちで7年間を過ごしました。何かをやる際に「もう遅い」と考える必要はありません。今始めたら今より遅くなることはないのだから、むしろ「今始めるべき」です。学生のうちに色々やってみよう！

もし今後カプコンのゲームを遊ぶ機会があったら、僕の名前がスタッフロールに載っているか探してみてください！

就職までの道のりを紹介！

広政さんのリアルSTORY

本科1年

二コマメディア部に入部。高専プロコンでwebページの作成を学ぶ。

本科2年

高専プロコンで問題のソルバーを開発。アルゴリズムの面白さを知り、競技プログラミングを始める。

本科3年

コロナでオンライン授業に。授業が分からず1日中勉強する日々が続いたが、新しいことを自分で勉強することは楽しく、進学を視野に入れ始める。

本科4年

4~10月 高専プロコンにチームリーダーとして参加。実装が間に合わず、チーム開発におけるマネジメントの大切さを実感する。  
10月 高専祭のWebページを作成。  
12月 進路を進学を決め、勉強を頑張る。

本科5年

7月 筑波大学の受験に落ち、九工大と専攻科で悩んだ結果専攻科へ進学することに。  
3月 応用音響研究会で発表を行う。様々な人の発表を聞き、研究という世界の広さ・奥深さを知る。

専攻科1年

インターンに行ったり研究を続けたりする上で自分には研究よりも開発の方が向いていると考えるようになる。就職を決意。  
3月 日本音響学会で発表を行う。ゲーム会社であるカプコンが広報で学会に来ており衝撃を受ける。話を聞き惹かれたのでエントリーすることに。

専攻科2年

4~5月 他に2社自由応募で受ける。書類選考、webテスト、コーディング試験、2回の面接を経てカプコンから内々定を頂く。  
7月 ICP C3 1チームの競技プログラミングの大会に参加。  
9月 日本音響学会で発表を行う。



専攻科からの就職も  
イイと思います。



先輩に一言

優柔不断なので専攻科への進学も就職先もたくさん考えました。先輩や先生から話を聞いたり、ネットで自分で調べたり、会社に実際に行ってみたり、今考えたと情報収集はとても大切だったと思います。今の時代、使える手段はいろいろたくさんあると思うので、全部使ってください。

就職までの道のりを紹介!

岡本さんのリアルSTORY

本科1年

サッカー部に入部。学業と部活動を精一杯頑張る。

本科2年

引き続き、学業と部活動を精一杯頑張る。トビタテの制度を利用して、海外に行くことと試みパスポートも準備したが、いろいろなあり結局行けず。

本科3年

コロナの影響で、前期の授業全てがオンラインになる。課題の量が増え嫌気がさしていたが、時間も有り余るほどあり、友人宅での日々を過ごす。

初めてインターシップに申し込み、就職の意識が高まっていたが、コロナの影響でオンラインになる。会社説明だけで就職を考えることはできず、進学を考える。

本科4年

進学先として大学も考えたが、専攻科進学した部活の身近な先輩からの話を聞いて専攻科志望になる。

本科5年

部活動を頑張る、全国高専大会に出場。進級してすぐ、推薦で専攻科に合格が決まる。初めての海外で、英語が話せなくても意外と意思疎通ができることを知り、海外の面白さを知り、1回目まで体調を崩し、2回目も分かっただけだが、体調を崩す。

専攻科1年

コンサル2社、ゼネコン1社のインターンシップに参加し、興味を持って株式会社ニュージエックへ就職を考える。

後期中頃にエントリーし、適性検査と2度の面接を経て内定をいただく。

専攻科2年

一級施工管理技士の試験を受験したが、同級生の中で一人だけ不合格。10月に対面で内定式。

キャリア教育・学習支援室より

「わかる」と「出来る」が「やりたい」を生み出す

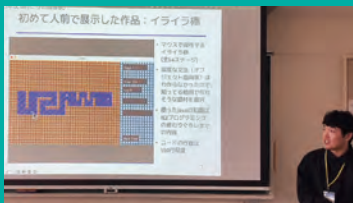
今年度のキャリア教育・学習支援室では卒業生や5年生による講話、インターンシップの事前研修や業界調べ学習等に加え、2回の合同企業説明会を実施しました。さて、学生の皆さんはこれらのキャリア教育プログラムの中で「何か面白い情報を発見」出来たり、「これをやってみよう」という気持ちが生まれて来たのでしょうか?もし徳山高専におけるキャリアを含む色々な取り組みに対して、このような感情が生まれて来にくく最後まで受動的な場合は、日々の生活の中の「わかる」や「出来る」が十分ではないか

もしれません。人間は「わからない」や「出来ない」が多すぎる物事には興味を持ちにくいものです(一方で、努力の必要がほぼ無い様な「わかる」や「出来る」に興味を持つのもまた難しいです)。特に本校の様な理系の高等教育機関では、「興味がある」から「わかりたい・出来る」のように「わかる」と感じ、「わかった・出来るようになった」から「もっと興味が出てくる」というサイクルを「自分で回す」事が重要です。その様な経験は「新しい情報」に対して良いインターフェースとして機能し、新たな

興味をもたらしてくれるでしょう。そのため、自分のキャリアを考えるためには日々の講義・実験実習等の内容をしっかりと「わかって、出来る」様になる事が何よりも大切になります。そして、その経験を元に自分でものを作ったり、情報を集めてみる事は最も素晴らしいキャリア形成の土台となります。キャリア教育・学習支援室ではこの観点を重視し、低学年のための放課後補習も行っていますので、是非自分の人生のために一生懸命取り組んでみましょう。



キャリアデー



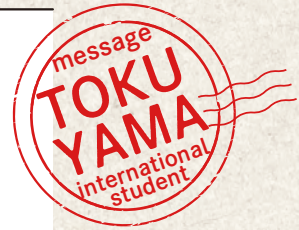
OB講話



やまぐち企業交流フェス







# 留学生だより

## 徳山高専で過ごした思い出

情報電子工学科5年



Enkhbold Munkhtushig (ササエ) 出身国：モンゴル

It has been three years since I came to Tokuyama, and I don't think it's a short period of time. At first, it was difficult because I lived at the top of the mountain while the shopping areas were down at the bottom, but eventually, I got used to it. I started enjoying the breeze while riding my bike downhill. I often used the baseball club's gym-like facility, even though I wasn't officially part of the club. I really enjoyed spending time there, and I loved looking up at the night sky from that spot. In spring, the view of the cherry blossoms was beautiful, and it brought me peace of mind.

The teachers were always very kind and supportive, treating me with respect and making me feel welcome, regardless of my background as a foreigner. The staff in the dormitory were also very helpful. I'm grateful to the people in the school office and the health room staff, as they have helped me many times. One person I often talked to was the woman at the school snack store. She made things enjoyable for me, and I'm very thankful

for her kindness.

In addition, one of my favorite things to eat is the boneless chicken sold at the school snack store. It's so delicious, and I never get tired of it! I also love katsudon, which is a popular dish served at the school cafeteria. It's always comforting to enjoy a warm and hearty meal there after a long day. These meals have become a special part of my daily routine.



## 徳山高専で過ごした思い出

土木建築工学科5年



NADYA RAHMADHANY (ナディア) 出身国：インドネシア

My three years at Tokuyama College of Technology were filled with challenges, growth, and self-discovery. At first, I wasn't used to using Japanese often, and it made many things—like understanding classes or daily interactions—more difficult. However, with the constant support of my teachers and peers, I gradually adjusted and became more confident in myself. As an international student, I also had the opportunity to connect with people from different countries through various exchange activities, which broadened my perspective and gave me a sense of belonging.

These experiences not only helped me overcome my struggles but also guided me to discover what I want to do in life. Through my studies, I realized my passion for using architecture to connect people and communities, and I started to see how I could turn this dream into reality. Working on

assignments and projects pushed me to grow both personally and academically, and I am proud of how far I have come.

The three years I spent at Tokuyama College are an invaluable part of my journey, and I am deeply grateful to everyone who supported me along the way. I will carry these experiences with me as I continue to pursue my dreams.





# 国際交流活動報告

国際交流室では、学生のみならずが安心安全に海外経験や交流・学習を行えるように、海外の提携校や全国の高専と協働してプログラムも作成し、運営しています。各助成を活用して、世界を広げたみなさんの体験を報告します。

## 協定校派遣プログラム

### シンガポール研修

機械電気工学科4年 福江 大輝

シンガポールポリテクニクの学生と観光や学校活動を通じて交流し、英語力とコミュニケーション能力を高めました。現地の学生たちと、観光では日本にはない独特な建築物を見学し、学校ではプログラミングや模型飛行機の製作を体験することで、徳山高専の全学科に関連する専門知識も深めることができました。

また、多民族国家であるシンガポールでは、英語だけでなく中国語での会話や異文化交流も楽しむことができました。

多くの友達ができ、非常に貴重な経験となりました。



### 香港I・V E研修

土木建築工学科1年 大井 花凜

提携校である香港I・V Eで一週間滞在し、ものづくりワークショップや文化交流を行うプログラムでした。

香港I・V Eは様々な学科の技術的なことを学べる学校で、私たちは香港I・V Eで車の実習工場の見学や、英語、AIを活用したワークショップなどを行いました。また、香港観光として色々な場所を紹介して

いただき、香港の文化、魅力、歴史などを学びました。香港での体験は初めてのことで、ばかりで、とても充実した時間でした。



### 台湾国立聯合大學

#### インターンシップ

情報電子工学専攻1年 浦崎 丞威

私は台湾にある国立聯合大学に五週間、インターンシップとして滞在しました。プログラミング研修と語学研修が主な内容でした。

プログラミング研修は韓欽銓先生のもとで業務用扇風機の破

損事前検知に関する研究を機械学習を用いて行いました。語学研修では中国語の基本的な単語や文法を英語で学習しました。

この大学ではさまざまな国の留学生を受け入れており、フランスやマレーシア、オーストラリアなどグローバルな交流ができました。

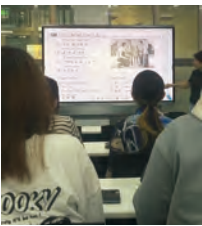


### 大連東軟信息学院語学研修

土木建築工学科4年 山田 果奈

授業では主に中国語、マナー、文化について学びました。そのほか会社見学に行ったり、みんなが動物園に行ったり、中国人学生との食事会などイベント盛りだくさんでした。徳山高専からは一人の参加でしたが、他の学校からの留学生の子たちと仲良くなり、放課後や休みの日には大連の観光スポットやショッピングモールなど、いろいろな場所に行きました。

初めての留学で不安な気持ちもありましたが、学生さんも街のみなさんとても親切な方ばかりでとても楽しい留学を経験することができました。



## 協働派遣プログラム

### マレーシア・ペナン

#### 異文化体験型研修

土木建築工学科1年 藤井 奈緒

私は、マレーシア・ペナンに海外拠点を置く豊橋技術科学大学主催の異文化体験型研修に参加しました。マレーシアの町や歴史的建造物等のフィールドワーク、現地の高校での語学研修が主な目的でした。日常で様々な宗教や文化、言語が飛び交い、それぞれが尊重しあつて生活していることを強く感じる事ができました。また、ペナンには日本では絶対に見られない多くの魅力的な建築物があり感心しました。初めは不安なこともあったのですが、サポートしてくださった方達が親切で話しやすく、他高専、海外の友達もでき、最高の経験となりました！



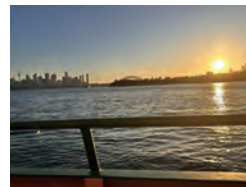
### オーストラリア語学研修

機械電気工学科1年 平賀 樹

今回の留学は、他国の留学生との様々な交流があり、とても興味深かったです。

すべてが英語で行われることで

英語力が身についたり、文化の違いについて触れたりすることができ、とても良い機会になりました。授業の終わった午後や、休日には、シドニーオペラハウスや、大きなショッピングモールに行くことができ、海外でしか得られない経験がありました。私の参加したプロジェクトは、ホームステイだったため、ホストファミリーとも仲良くすることができました。



### セブ島語学研修

情報電子工学科2年 山本 亮太

私たちは、語学研修として、フィリピン・セブ市にあるJoyful Educationという学校に二〜三週間通いました。平日は、学校で先生方と一対一で授業を受けたり、グループ活動をしました。休日は、シテイーツアーやアイランドホッピング、ショッピングセンターに行き、フィリピンの生活を満喫しました。初めての海外への渡航で、不安な要素があった中、異文化を理解し、適応することができたことは、英語を学習する以外で最も成長した点だと考えています。







香港



私は香港にある香港IVEという職業訓練校に二週間滞在しました。この留学では、海外で用いられる自動ロボット技術の習得や、世界で活躍するソーラーカーチームでの活動を目的として行きました。自動ロボット技術の習得では、タブレットで遠隔操作する小型ロボットの作成や、シーケンス制御を使った物体を判別し移動させるラダー図作成に取り組みました。これらは高専で習得した内容と似ていましたが、英語での説明を理解するのに苦労しました。しかし、現地の生徒や教授の助けを借りて、無事に完成させることが出来ました。また、空き時間では英語を学びたい学生が集まる「イングリッシュルーム」に行つてボードゲームを通じて交流し、英語力を向上させました。留学前は香港の環境に適応できるか不安でしたが、現地の人たちの親切なサポートのおかげで、非常に充実した思い出深い留学となりました。

機械電気工学科4年 倉本 比呂



ドイツ



私は環境建築を学ぶため、ドイツのフライブルクに約三週間留学しました。午前は語学学校へ行き、午後は探求活動をするという感じで三週間過ごしました。英語が通じずドイツ語で話さないといけないこともあったので、会話がメインの授業はとても役に立ちました。また、私は専門の学校には行かず、現地で環境建築に携わる仕事をされている人や施設を訪れて勉強しました。エコステーションという環境系の教育も行っている日本人の方にも話を伺いました。ドイツの建物の断熱や、インフラの仕組みを学べただけでなく、別の人を紹介してただけで予定より多くの人から学べました。また、街頭インタビューをしたときに、ドイツ人の環境への意識の高さや、そもその制度が日本と異なることに驚かされました。他にもイースター休暇で旅行に行った時は、城に行ったり街を散策したりしてドイツ特有の雰囲気刺激を受けました。新しく知れたことが多く、とても刺激的で充実した三週間でした!

土木建築工学科3年 久保 愛歩

国内活動

グローバルリーダー育成塾

津山高専主催のグローバルリーダー育成塾2024が十月五日(土)～六日(日)に岡山県青少年教育センター閑谷学校で開催されました。中国地区高専の学生と留学生が、世界に目を向け一緒に課題を考えるプログラムです。



初めは、グループワークで自分が思っていることを英語にしようとした時、頭が真っ白になって、習ってきた英語を思うように話すことができませんでした。ですが、徐々に話すことに抵抗がなくなってきた、「英語で話す」ということが楽しくなりました。

情報電子工学科1年 山田 結衣

私のグループは発表したいテーマや原稿を決めるときに意見がずれ違つてしまい、英語を使ってまとめたり、説得させたりするのに苦戦しました。しかし、全員が協力的で優しかったので楽しくグループワークに取り組むことができ、良い発表に繋がったと思います。

情報電子工学科1年 山田 結菜

多様な交流活動の紹介

グローバルセミナー #2

「世界のどこでもハッピーになるには」

2024年6月18日に、米国ニューヨーク市で現役の教員・研究者として活躍されている Mana Kobuchi Philip さんをお迎えして、海外で博士号を取得された御経験や、言語学を通して感じる文化の違い、ピンチの

時に乗り越えてハッピーになるマインドについて率直に講演頂きました。強さと前向きさを大切にしようと思ったなど、学生たちに挑戦する勇気を与えて頂きました。



ボランティア活動による国際支援

「下松市での台湾の花蓮地震への募金活動」

2024年4月29日に、「台湾の花蓮地震への支援をしたい!」という学生が集まって、下松のゆめタウンで募金ボランティアを行いました。同施設で行われた日台交流イベントで台湾と下松市・周南市とのつながりを学び、先端企業やものづくりにおいても深いつなが

りがあることを知りました。国境を越えて助け合える関係に改めて感心し、是非訪台したいという学生も出てきました。実際に徳山高専でも日立ハイテク(株)と国立聯合大学との3者連携協定を結び、海外インターシップも始まり、交流が進んできました。



国際交流室長 江本 晃美

# 高城寮より

生写真  
寮舎  
集合  
2024  
新集



この1年間はあつという間でした。1年前に新寮生会となり手探りをしながら過ごしてきました。その中で寮生会の仲間や先輩、寮務室や事務室の方にはとても助けてもらいました。そのおかげで楽しい1年間になりました。寮が少しでも過ごしやすい環境になっていたらいいなと思います。残り1年間は次の寮生会をサポートしていきたいと思います！1年間ありがとうございました！

寮生会長(男子寮長)

土木建築工学科 4年 廣中隼輝

この1年間、女子寮の皆さんの声に耳を傾けながら、自分なりに女子寮長を務めてきました。いろいろと不安なこともありましたが、友達や寮生会の方々、女子寮の皆さんのおかげで乗り越えることができました。女子寮が安心して過ごせる場所になっていたらとても嬉しいです。また、寮行事の話し合いや準備に関わることができ、とても楽しく、良い経験になりました。1年間ありがとうございました！

副寮長(女子寮長)

土木建築工学科 3年 窪田 滯

今年が副寮長として初めて寮の運営にかかわりました。今まで何となく楽しんでた寮の行事の数々がかなりの量の試行錯誤の上になりました。ことを知りました。メインは先輩たちがその役割を担っていましたがそれを微力ではありますが支えることが出来てよかったです。来年も何らかの形で寮の運営にかかわり、よりよい生活を目指したいと思えます。

副寮長

土木建築工学科 3年 阿比留 尚輝

今年が寮の美化に携わってき1年間でした。最初は成り行きでこの仕事を受けましたが楽しかったです。仕事量も多かったり、中々再清掃も減らない中どうやったら減ることが出来るのかなど色々大変でしたが周りのサポートもあり1年間こなしてきました。今年が再清掃0を達成出来なかったの再来年の美化更生部長を助けながら、来年は達成していきたいと思っています。

美化厚生部長

土木建築工学科 4年 中嶋 柊二

今年度の寮生会は寮生が楽しいと思ってもらえるようなイベントにするために話し合いを重ねることができたと思います。また、内務部長として学寮行事の司会進行や企画の運営など、多くの点で寮に貢献することができたのではないかと思います。大変なこともたくさんあつたけど楽しく頑張れたのでよかったです！ありがとうございました！

内務部長

情報電子工学科 4年 米田 風汰

再入寮してまさか指導寮生長の仕事をする事になるとは思いませんでしたが、周りに助けられながらもできることをやってみました。注意をする際にそれを言える立場なのか考えることで自分自身を顧みることができ、良い機会になりました。企画の準備などに携わって裏側を知ることができて楽しかったです。

指導寮生長

土木建築工学科 4年 石川 尋翔

寮生会  
役員  
2024



4年 山田 脩人(後期から石川 尋翔)、  
3年 阿比留 尚輝、3年 窪田 滯、  
4年 廣中 隼輝、4年 中嶋 柊二、  
4年 米田 風汰





12月 | 高城寮冬まつり



1月 | 予饗会



2月 | 卒寮式



4月 | 入寮式



4月 | 新入寮生歓迎マッチ&BBQ



6月 | 高城寮夏まつり



10月 | 後期寮生マッチ



留学生研修旅行



5月・11月 | 学寮避難訓練



試験前 | 学寮勉強会



# 学生会活動

## 会長としての一年間を振り返って

学生会長  
機械電気工学科4年 田川 太一

新型コロナウイルス感染症が5類に移行して1年経った今年の4月に学生会長に就任しました。私の目標は、何か新しいことをしようというものではなく、学生会を少しでもコロナ前の状態に戻したいというものでした。

学生会の仕事は決して華やかなものばかりではありません。学生会行事の準備や運営、校内や高専坂の草刈りや清掃、課外活動の各種サポートなど、どちらかと言えば地味な役割が多いです。その中で、まずは

会長として人がやりたがらないことを率先してやろうと思いがら学生会に関わってきました。

最も苦労したことは学生会総会の開催です。何とかコロナ前のように対面で開催しようと思っていたのですが、参加者が思ったように集まらず、先生方の力をお借りしながら、仕切り直すことになりました。参加率を高めるためにハイブリッドでの開催で何とか無事に形にできたことは安心しましたし、今後の学生会イベントのあり方を考

えるうえで有意義だったのかなと、結果的には感じています。

高専祭、クラスマッチ、学生会選挙など、年間を通じて大きなイベントがある中で、学生会だけでは、ましてや私一人では到底何もできないこと、学生の皆さんにいかにか協力していただけるかが最も大事であることを痛感させられた1年でした。1年間本当にお世話になりました。心より感謝申し上げます。



## クラスマッチ

前期クラスマッチが5月8日(水)、後期クラスマッチが10月9日(水)に開催されました。いずれもコロナが明けて昨年度復活したリレーをメインイベントと

た戦いが繰り広げられ、観客の応援にも熱が入っていました。前期、後期ともに総合優勝はME5で、昨年度から2年連続優勝という快挙を打ち立てまし

た先生が活躍したりと今年度のクラスマッチは終始盛り上がりがあった印象でした。今後も学生会体育局を中心によ

体育局長  
情報電子工学科4年 岩見 宥希



## 前期・後期クラスマッチ



# 高専祭

して、サッカー、ソフトボール、フリスビードッジ、バスケットボール、バレーボールの全6競技で行われました。どの競技も白熱し

た。低学年のクラスが高学年のクラスに勝つ競技があったり、昨年度の雪辱を晴らす競技があったり、助っ人として参加し

り盛り上がる楽しいクラスマッチを企画したいと考えています。

高専祭実行委員長  
情報電子工学科4年 市川 愛徠

今年の高専祭は10月26日(土)、27日(日)の2日間で開催されました。

徳山高専創立50周年という記念すべき今年の高専祭では、コロナ明け2年目ということもあり、外部の方々に多く来ていただきたいという思いを「50周年だよ！全員集合」というテーマに込めました。

本格的な準備は夏休み明けの10月にスタートしました。スムーズに進む部署、課題が多くなかなか進まない部署がある中で、高専祭実行委員、各部署長部署員の全員で協力しながら準備しました。スポンサーになつていただく企業に訪問したり、近隣の高校や中学校にポスターの掲示をお願いしてまわったり、学校に遅くまで残ってホームページや各種資料の作成をしたりと、毎日が大

忙しでした。ギリギリのスケジュールで進む企画も少なくない中、上手いかなかった時の代替案を常に持つことの大切さを身に染みて感じたのを覚えています。

2日間にわたるステージイベント、徳山高専の技術を結集して製作したアトラクション体験、模擬店や学科展示のほか、1日目は周南ロボコン、2日目には特別企画としてお笑い芸人のきつねさんをゲストにお呼びしたお笑いライブなどなど盛りだくさんの高専祭。「徳山高専の魅力を味わってほしい」「50周年記念を皆で楽しみたい」と日々考えながら準備しました。しかし、全体を上手く把握できておらず、結果として周囲から不安の声や厳しいアドバイスを受けることもありました。



また、高専祭直前には雨天の予報でひやひやしました。「来場者の食事の場所はどうか」「濡れた傘を入れるビニール袋が必要だ」「校内が泥だらけになるかも」など、様々ことを考えました。しかし、当日は小雨が降った時間帯があったものの、屋外の模擬店、展示、イベントのすべてを予定通り実施できました。

私自身、学業と高専祭準備の優先順位のつけ方が難しく、不安に思うこともありましたが、何とか無事に高専祭を終えることができました。これらすべて、高専祭実行委員、各部署長部署員、教職員の方々、地域の方々、皆さんのご協力の賜物だと思えます。心から感謝したいです。

## 高専祭の様子



高専祭のテーマ... 高専祭ホームページのトップ画像より





# 退職教職員から

## 徳山高専の皆さんに感謝

情報電子工学科教授

重村 哲至



昭和55年に情報電子工学科の7期生として入学しました。卒業後、大学、大学院を経て平成元年に教員として着任しました。通算で40年以上、徳山高専にお世話になったことになります。入学した頃はパソコン(PC)の走りが出たばかりで、高専で始めて実物を目にしました。同級生も私も、次々に発売される日本メーカのPCに熱狂し、また、図書館のPC雑誌を奪い合って読みました。あつという間の5年間で読みました。あつという間の5年間で連絡がつき、昨年、還暦記念の同窓会を開催しました。

教員として着任した頃はバブル絶頂で、ドリンク剤のキャッチコピー「24時間戦えますか」が流行っていました。夜遅くまで働くことがカッコよいと信じ、また、周囲には午前様で仕事する人々がいました。徳山高専にインターネットを引く。校内のサーパソコンピュータを手作りする。学科や情報処理センターのPC教室を手作りする。そんなことを夜遅くまでやっていました。

20代の終盤からの17年間、高専プロ

コンの全国実行委員をさせて頂きました。黎明期には毎月のように東京に集まって、手探りで企画・運営の検討をしました。毎年、コンテストが開催される地方に旅行できたことも楽しい思い出です。

しかし、一番の思い出はクラブ顧問や学級担任です。着任から7年後、ハンドボール部の全国優勝に（ベンチに座っているだけの監督として立会い、逆転優勝の瞬間には鳥肌が立ったのを鮮明に覚えています。チームが強くなる過程を部員と共に歩めたと誇りに思っています。学級担任のチャンスは少なかったのですが、最初は後輩、次は子ども、最後は孫のような気がして、それぞれ、楽しい思い出になりました。特に5年生の担任では、卒業の日に沢山の「ありがとう」をもらい、教員は本当に良い職業だと思いました。

15歳から60歳まで、徳山高専の皆さんに支えられ、教えられ、成長できたと思います。本当にありがとうございます。

## 長い間大変お世話になり、 ありがとうございます。

土木建築工学科教授

渡辺 勝利



1986年4月に徳山高専に採用され今年で39年になります。私は本校の卒業生ですので人生の2/3以上を徳山高専で過ごしました。これまで高専教員として教育、研究に携わり様々な経験をさせて頂きました。

教育面では集中測量実習が印象に残っています。これは、土木建築工学科3年生後期の学外での3泊4日の実習で、他高専にはない行事です。この実習では地図の基になるポイントの選定から始まり、角度・距離測定、地盤高測定、そしてCADによる地図作成に至ります。天候の保証はなく、荒天で作業が遅れることもしばしばありました。また、測量の精度が悪く、夜明け前から起床して再測量することも何度もありました。地図が完成した時には、学生、教員共々大きな歓声と拍手が沸き起りました。学生の自主性を尊重した実習ですが、教員にとつてもまさに筋書きのないドラマであったと感じています。

研究面では、博士の学位を取得するための十数年間が特に思い出深い

す。私の研究テーマは、規則性がないと言われる水の流れ「乱流」で、その中に規則を見つけないというものでした。研究の方法は流れを可視化することで規則性を探しました。研究は5年生の卒業研究として進めました。

実験は学生のみなさんが部活動を終えた夕方から始まり、真夜中、長い時は夜明けまで続けることがありました。データ解析は当時デジタル技術も進んでいませんでしたので、モニターに映る画像を定規を使って測り、数十万個のデータを取っていました。実験も解析も学生の皆さんの力無しでは成り立ちません。私が学位を取得できたのは長きに亘って一緒に頑張ってくれた学生の皆さんのおかげです。本当に感謝しています。

終わりに、学生の皆さん、卒業生の皆さん、教職員の皆さん、保護者の方々のご健康、ご多幸を祈念し、心より感謝を申し上げて私の退職の御挨拶とさせていただきます。



# 徳山高専50周年記念事業に 寄付しました

高城会理事長 機械電気工学科15期卒 張間 貴史

徳山高専の50周年記念事業に、高城会として200万円を寄付させていただきました。この寄付により、記念式典のパンフレットとオリジナルのマスコットキャラクターをデザインしたキーホルダーが制作されました。マスコットキャラクターは、学生のデザインによるもので、記念品として多くの方々に喜ばれました。パンフレットには、活躍している卒業生の紹介、徳山高専の歴史、在校生からのメッセージなどが掲載され、卒業生、在校生のつながりを感じることができるものとなりました。高城会は今後も母校への支援を続け、次世代へとつなげていけるよう努力してまいります。



野口校長と川村会長



キーホルダー



等身大パネル



パンフレット

## 編集後記

徳山高専は1974年の創立から50周年を迎え、皆さまのご支援とご協力のもと無事にこの2024年に記念式典を開催することができました。今回の高専だよりでは、50周年の特集と今年度の学校行事やコンテスト等における学生たちの活動および活躍の様子を記載しています。次の50年に向けて飛翔するための新たな第一歩となる内容が記されておりますのでぜひご覧いただければと存じます。

(高専だより編集委員 高山)



徳山高専

National Institute of Technology,  
Tokuyama College

## 5つのC

1. **C**reation 「創造」
2. **C**hallenge 「挑戦」
3. **C**ooperation 「協働」
4. **C**ommunication 「コミュニケーション」
5. **C**ritical thinking 「批判的思考」

Check!

ホームページ



YouTube



Follow me!

Facebook



Instagram



ホームページや各SNSで情報を発信しています。



本校の「設計情報工学」プログラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)からの認定を受けています。



本校は、令和元年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認証評価を受け、認証評価基準を満たしていると認定されました。平成18年度に同機構による認証評価を得ており、引き続き認定されたものです。

---

## 徳山高専だより No.78

---

発行 徳山工業高等専門学校 総合企画室  
所在地 〒745-8585 山口県周南市学園台  
TEL (0834)29-6200 (代表)  
FAX (0834)28-7605 (代表)  
印刷 株式会社新周南クリエイティブワークス  
発行日 2025年(令和7年)3月5日  
URL <https://www.tokuyama.ac.jp/>